九州地区大学図書館協議会誌

第 66 号

2023

九州地区大学図書館協議会

第６６号

目　　次

【巻　頭　言】
宮崎大学附属図書館長　・・・・・・・・・・・・・・・・石　川　千佳子・・１

【寄　稿　論　文】
江戸幕末期に印刷された長崎版洋書について:日本の活版印刷事始め
・・・・・・・・・・・・・・・長崎大学附属図書館　宮　脇　英　俊・・５

【図 書 館 紹 介】
九州大学附属図書館芸術工学図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

【加盟館ニュース】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

【図書館活動報告】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

【事 務 局 報 告】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45

【協議会総会記録】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47

【資　　料】
九州地区大学図書館協議会会則　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則　・・・・・・・・・・・・・・・52
九州地区大学図書館協議会入会に関する細則　・・・・・・・・・・・・・・・・・53
九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規　・・・・・・・・・・・・・・・・57
九州地区大学図書館協議会表彰規程　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
研修会の補助に関する申合せ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・62
副幹事館の役割　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について　・・・・・・・・・・・64
加盟館一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・66
役員館一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・69
総会当番館一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・74

巻　頭　言

【共創×文化発信の場、そして本来的な図書館機能の再評価へ】

宮崎大学附属図書館長　石川千佳子

はじめに

コロナ禍による種々の制限から解放された今、館内のラーニングコモンズには、くつろいで本を読み、楽しげに語り合う利用者の姿が、以前にも増して多くみられるようになりました。

ここでは、2020 年 7 月にリニューアルオープンした宮崎大学附属図書館（本館）の取り組みと、その後の展開を中心に述べてみたいと思います。

（1）共創の場を目指して

宮崎大学附属図書館（本館）は、既に一部分に設置されていたラーニングコモンズの拡充を図るべく、2019 年から 2020 年にかけて大規模改修工事を行いました。

その指揮にあたった新地辰朗前館長は、リニューアルオープンに際して、改修の目的が「利用者自身が活動をデザインし、創造的に実践する環境の整備」であり、「学生、留学生、社会人などの多様な人々が互いに働きかけ合いながら、そして地域や国を超えた文化に親しみながら、新たな学びが展開することを期待する」との言葉を寄せています。[1)]

この改修によって、1 階は地域の人を含む多様な人たちが出合い、語らう場としての「コミュニケーションコモンズ」になり、本学初のライブラリーカフェも併設されました。

続く 2 階は、伝統的な図書館の空間としての「黙考の杜」、改修の目玉となった 3 階では、利用者それぞれが 1 階で語り合い 2 階で熟考した成果を持ち寄って、そこから新しい創造を生み出す「クリエイティブコモンズ」というストーリーにもとづくゾーニングがなされました。

3 階のクリエイティブコモンズには、靴を脱いで利用し、リラックスした格好での読書もできれば、窓側に設えられた階段状のスペースをステージにして、演劇等のパフォーマンスも可能な「itanoma」や、5 台のプロジェクターと大型スクリーン兼ホワイトボードの壁面を備え、授業やイベントで映像を最大限に活用できる「hidamari」の他、少人数のゼミや会議にも適した 3 室の「co-baco」が設けられました。この co が付くネーミングにも、フラットな関係で相互に交流し協働することから新しい創造が生まれるという、クリエイティブコモンズの理念が反映されています。

itanoma

hidamari

co-baco

残念なことに、新しいスペースの活用が軌道に乗ろうとする矢先にコロナ禍に見舞われ、対面による交流や協働が厳しく制限される事態となってしまいました。

しかしながら、十分な感染対策を講じたうえで、学生グループの自主企画による創発活動からは「光と映像で表現する宮崎」をテーマとするプログラムが生まれました。その成果発表として、2022 年には『プロジェクションマッピング短歌会』や、宮沢賢治の童話を題材とした『プロジェクションマッピング×朗読劇公演』が開催され、学部を横断したコラボレーションが話題となって、地元紙にも大きく取り上げられました。

プロジェクションマッピング短歌会

（2）文化発信の場として

今日の図書館における展示機能の充実には目覚ましいものがありますが、本学附属図書館においても、新たに 3 つの展示フレームが設置されました。

1 階には、本学農学部の卒業生であり、京都賞を受賞した世界的に著名な進化生物学者の根井正利氏を顕彰する展示ブースと、本県土呂久鉱山の砒素による公害関連の記録や、同地域の歴史、民俗、自然にわたる貴重な資料を展示するブースが常設され、3 階には、本学国際連携センターとの連携により米国国務省の助成を受けて企画された「アメリカ国務省×宮崎大学　図書館プロジェクト」の一環として、「アメリカンインフォメーションデスク」が置かれています。その他にも、1 階エントランスに図書館から情報発信するための展示ブースが設けられました。

これは本学附属図書館の特色の一つではないかと思うのですが、本館には図書資料以外にも、歴代の教育学部の美術教員や、後に画家として活躍した卒業生、郷土ゆかりの画家の作品が保存されてきました。

学内に美術品専用の収蔵庫はありませんので、温湿度管理が適正な場所として図書館の倉庫に保管されていたのではないかと推測されます。将来館長を務めることになるとは思いもよりませんでしたが、今から 20 年以上も前に、附属図書館運営委員会からの依頼を受けて美術作品の所在と状態を調査し、所見報告を行ったことがあります[2)]。

その後、史料性の高い絵画については、学長裁量経費を得て絵画修復の専門家による調査と修復が行われ、本館隣の宮崎大学創立 330 記念交流会館のエントランスホールに設置された展示ケースに収められて、一般公開されています。一部破損していた彫刻作品についても、リニューアルを機に本学教員による部分修復が行われ、本館内の展示が実現しました。

こうした美術作品のみならず、所蔵する貴重図書や資料を展示公開するためには、どうしても鍵がかかり、温湿度や照明の調整が可能な展示ケースが必要になります。

そこで、2022 年から本館 1 階エントラン

スの展示ブースの改装計画が進められ、2023年6月には、著名な郷土画家である弥勒祐徳氏のご子息より本学に寄贈された絵画のお披露目も兼ねて、展示ブース完成記念式典が行われました。

本学はもとより、地域の貴重資料を展示することから「takara-baco」と名付けられたブースでは、本学図書館職員による月例展の他、10 月には企画展示として、本学農学部と宮崎アカデミーロータリークラブ、及び九州大学附属図書館「中村哲著述アーカイブ」よりご協力をいただき、「宮崎大学とアフガニスタン展」を開催することができました。

takara-baco「宮崎大学とアフガニスタン展」

「宮崎大学とアフガニスタン展」

（3）教育研究の結節点として

地域活性化の中核となることがミッションとされる地方国立大学では、教育研究において地域との連携と地域への貢献が求められています。

また、教育においては、自主的に課題を発見し、IT 機器を駆使して調べ、グループディスカッション等によるアクティブラーニングを通して、課題解決の途を実践的に構想する力を育成することが当たり前になりました。

教育の側から、地域社会との連携や実践的な学びというと、その一つの源流を米国の哲学者の J. デューイ（1859 - 1952）にみることができます。

周知のように、彼が構想した学校の中心に位置するのが図書室（図書館）です[3)]。実践と理論を有機的に連関させるためには、通り一遍の平均的な知識の閲覧ではなく「世界の叡智の集積―それは図書室に象徴されている―から来る新しい光を投ずること[4)]」が必要なのです。

その意味では、伝統的な図書館における資料収集と保存の機能とともに、平均化されたウェブ情報では得られない、経験に裏打ちされた深い情報の蓄積にもとづくレファレンスが可能な専門司書の存在が欠かせません。

現在、大学図書館には、オープンサイエンス化や電子ジャーナルによる予算のひっ迫など、待ったなしの頭の痛い課題が突き付けられていることは言を俟ちません。しかし、そのような時代であるからこそ利用者の一人一人が立ち止まって考え、ラーニングコモンズで得た体験的な知を、独創性の源泉となる生きた総合知に深めるための、本来的な図書館機能が再評価されてしかるべきではないでしょうか。

参考文献

1）宮崎大学附属図書館（本館）リニューアルオープンに関するパンフレット　2020年7月15日

2）石川千佳子・幸本陽子「宮崎大学所蔵美術品とその保存状態（一)」 宮崎大学教育文化学部紀要 芸術・保健体育・家政・技術 第9号 2003年、及び幸本陽子・石川千佳子「宮崎大学所蔵美術品とその保存状態（二)」 宮崎大学教育文化学部紀要 芸術・保健体育・家政・技術 第12号 2005年

3）J.デューイ『学校と社会』宮原誠一訳 岩波文庫 1984年 85頁　第3図

4）同上書 90頁

寄 稿 論 文

【江戸幕末期に印刷された長崎版洋書について：日本の活版印刷事始め】

長崎大学附属図書館　宮脇 英俊

我が国の活版印刷文化は，幕末の長崎からはじまったといってもよい。その頃この地で印刷された洋書を長崎版と呼ぶ。その一部が長崎大学附属図書館経済学部分館内の武藤文庫に保存されている。(1)

1. Van der Pijl's gemeenzame leerwijs, voor degenen, die de Engelsche taal beginnen te leeren

2. Volks-natuurkunde, of, Onderwijs in de natuurkunde voor mingeoefenden, tot wering van wanbegrippen, vooroordeel en bijgeloof

3. Open Brieven uit Japan

の 3 冊を確認したので，関連することについて以下のとおりまとめてみた。

長崎版について

長崎で洋書を活版印刷するに至った経緯を簡単に記す。

安政 2 年 (1855) 6 月	海軍伝習の開始にあたり教科書の必要性もあり，長崎奉行荒尾成允が老中阿部正弘に「阿蘭陀活字判蘭書摺立伺」という建議書を出した。世の中の蘭書の需要に追いつけず，通詞の勉強にも事欠く状態を打開するために，必要な書籍を印刷し販売すれば便利だとの趣旨である。(2)
安政 2 年 (1855) 8 月	幕府は，新たにオランダへ印刷機や活字を注文することを命じて許可し，**長崎奉行所西役所**の中に「活字判摺立所」を設置した。(3)
安政 3 年 (1856) 6 月	嘉永元年(1848)に長崎に舶載されていた西洋植字印刷機(4)で，*Syntaxis, of woordvoeging der Nederduitsche taal*を初刊行した。(5)
安政 4 年 (1857) 9 月	第二次海軍伝習の派遣隊及び印刷機が到着。活版技師インデルマウル(G.Indermauer 1831-1888)がいた。(6)
安政 4 年 (1857) 12 月	印刷所を，西役所内から近くの江戸町の**五箇所宿老会所**に移転する。インデルマウルが印刷教育にあたる。(7)
安政 5 年 (1858)	**出島印刷所**設置。(8) インデルマウルが印刷の伝習も行う。本木昌造が監督官。(9)
安政 6 年 (1859)	大老井伊直弼から活字判摺立所廃止命令(印刷拠点を江戸に移すため)，および海軍伝習終了にともない出島印刷所閉鎖。ここまでが長崎での幕府が関与した印刷所。(10)
万延元年 (1860) 8 月	シーボルト(Philipp Franz von Siebold. 1796-1866)が出島内に**出島オランダ印刷所**を開設する。インデルマウルを印刷工として採用。(11) 文久 2 年(1862)6 月頃には閉鎖する。(12)

一般的に長崎版と呼んでいるが，印刷所の運営主体や設置場所で微妙に違いがある。厳密には分けて考えた方が良い。なかでも出島の印刷所「出島印刷所」と「出島オランダ印刷所」の関係性が明らかになっていないことも多く，先行研究の区分けも様々である。

そこで筆者なりに考察してみた。活字判摺立所設置建議書の許可条件のひとつに，新規印刷機一式の購入があった。新しい印刷機は第二次海軍伝習派遣隊の活版技師インデルマウルとともに長崎に到着した。インデルマウルは活字判摺立所で印刷指導を行い，加えて，出島に印刷所を開きオランダから新たに導入した印刷機を用いて印刷伝習もする。時に新条約によって，出島への出入りが自由になっていたこ

とからも伝習場所として障害はない。これを「出島印刷所」という（蘭人はオランダ印刷所と称した)。第二次海軍伝習の期間が終わるとともに印刷伝習も終了し，活字判摺立所も閉鎖される。ただし，インデルマウルはその後にシーボルトが設立する「出島オランダ印刷所」で雇用され、シーボルトは自著の『日本からの公開状』を第一弾として刊行する。

つまり，海軍伝習に係る印刷所か否か，シーボルトが設立した印刷所か否かで出島の印刷所が区別できる。この場合に，幕府系の印刷所として出島印刷所と活字判摺立所(江戸町)の二箇所が同時期（安政５年から６年の間）に存在することで混乱する。しかし，これは印刷物に記されている刊記“desima”の文字の有無で判別でき，かつ，出島印刷所のものは一目瞭然で印刷クオリティが高いことからも識別できる。

一方の活字判摺立所（江戸町）版の印刷クオリティが劣るのは，印刷機に使われる活字の一部は日本人が長崎で鋳造したものであること，職工は遠見番役人が兼務[13]していたことなどに起因することが考えられる。また，出島印刷所を幕府系とすることに懐疑の念を抱くかもしれないが，長崎奉行より幕府への伺い書の標題を書き留めた『諸上書銘書（長崎歴史文化博物館所蔵・国指定重要文化財・長崎奉行所関係資料)』の安政五年の項に，「活字判ニ而摺上候和蘭条約書差上候議ニ付申上候書付　荒尾石見守」，「活字判ニ而摺立候蘭人著述書差上候儀申上候書付　荒尾石見守」とある。これは次表の『日蘭条約書』と『ポンペの種痘書』と読み取れる。したがって，出島印刷所は幕府が把握していた印刷所とみなしてよいだろう。

したがって，長崎版というものは，活字判摺立所の西役所版・五箇所宿老会所版と出島印刷所版，そして，出島オランダ印刷所版の 4 種に分けられる。これは洋学史事典の「出島版」の項目にある分け方とほぼ同じである。[14]

安政３年（1856）から文久２年（1862）までの７年間に長崎で印刷・発行された図書は次のとおりである。

刊年	印刷所	印刷場所	タイトル
安政３年 (1856)	活字判 摺立所	長崎奉行所 西役所	*Syntaxis, of woordvoeging der Nederduitsche taal.*
			P.Weiland: “*Nederduitsche spraakkunst ten dienste der scholen*”
安政４年 (1857)			Pijl, Reiner van der: “*Van der Pijl’ s gemeenzame leerwijs, voor degenen, die de Engelsch taal beginnen te leeren*”
			Reglement op de exercitien en manoeuvres der infanterie.
安政５年 (1858)		江戸町 五箇所 宿老会所	Buijs, Johannes: “*Volks-natuurkunde, of, Onderwijs in de natuurkunde voor mingeoefenden, tot wering van wanbegrippen, vooroordeel en bijgeloof*”
		出島 （※1)	Donker Curtius, *Traktaat,1857*（『日蘭条約書』）
			Pompe：” *Korte Beschouwing der Pokziekte en hare Wijzigingen, in verband met de voorbehoedende Koepok Inenting*” （『種痘書』）
			Jhr. H. O. Wichers：*"Het Universal Instrument"*
安政６年 (1859)		江戸町 五箇所 宿老会所	P.Weiland: “*Nederduitsche spraakkunst ten dienste der scholen*”
		出島 （※1)	Pompe van Meerdervoort, J. L. C. ：” *Weerkundige Waarnemingen, gedaan op het eiland Desima in Japan, gedurende het jaar 1858.*”（ポンペの『1858 年出島に於て行はれたる気象観測』）
			Traktaat. Gedrukt ter Drukkerij te Desima(Japan) 1859.
文久元年 (1861)	出島 オランダ印 刷所	出島 (※2)	Siebold：“*Open brieven uit Japan*”
			Nederlandsche en Japansche Almanak voor het jaar 1861.
文久２年 (1862)			Siebold：“*Catalogue de la bibliotheque, apportee au Japon*”
			Pompe van Meerdervoort：“*Beknopte handleiding tot de Geneesmiddelleer*”

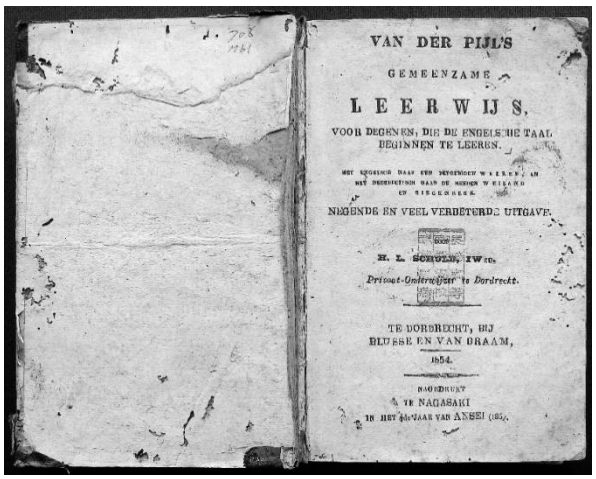
※1 は第二次海軍伝習期間中に設置され，派遣隊員インデルマウルにより運営

※2 は再来日したシーボルトが開設した印刷所でインデルマウルを雇用した

武藤文庫の長崎版洋書 3 点について

本学の武藤文庫には上記資料の内，3 点が現存する。ただし，経年により保存状態がよくないのが残念なところである。簡単に以下のとおり状態を記す。

●*Pijl, Reiner van der: “Van der Pijl’s gemeenzame leerwijs, voor degenen, die de Engelsch taal beginnen te leeren”*


VAN DER PIJL'S
GEMEENZAME
LEERWIJS,
VOOR DEGENEN, DIE DE ENGELSCHE TAAL BEGINNEN TE LEEREN.
NIEUWDE EN VEEL VERBETERDE UITGAVE.
H. L. SCHULZE, EWzn.
Privaat-Onderwijzer te Dordrecht.
TE DORDRECHT, BIJ BLUSSE EN VAN BRAAM,
1854.
TE NAGASAKI

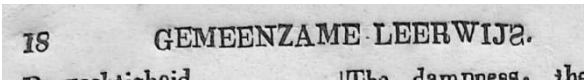
安政 4 年(1857)

図書 ID：3821888　　請求記号：武藤文庫 702||M8

・楮和紙で両面印刷に耐えられる厚さがある。

・タイトルページ前の遊び紙が欠落，177-192 ページ欠落（洋学史事典のページ数は誤値）

・p.18 他　のヘッダ部の見出し書名“GEMEENZAME LEERWEIJS”の末尾の‘S’は，左右反転の裏字形になっている。本文にも散見。


18　GEMEENZAME LEERWIJS.

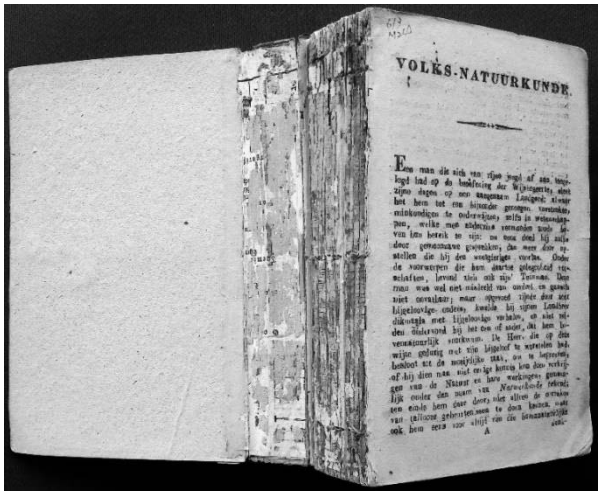
・P.32　pope　白液修正

・ｄとｐは同一で回転して使用

・長崎官吏點檢之印がない（遊び紙が欠落しているため確認できず。早稲田大学所蔵本には長崎官吏點檢之印がある。）(15)

・裏見返しに「長崎東衙官許」印有り(16)

●*Volks-natuurkunde, of, Onderwijs in de natuurkunde voor mingeoefenden, tot wering van wanbegrippen, vooroordeel en bijgeloof*


VOLKS-NATUURKUNDE.

1858（安政 5 年）

図書 ID:3821550　　請求記号:武藤文庫 613||M24

・楮和紙で両面印刷に耐えられる厚さがある。

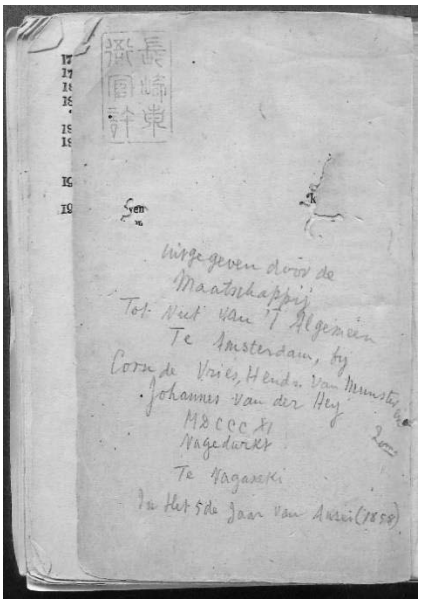
・表紙や裏表紙，タイトルページおよび前遊び紙が欠落。

・遊び紙が欠落しているため「長崎官吏點檢之印」の確認ができない

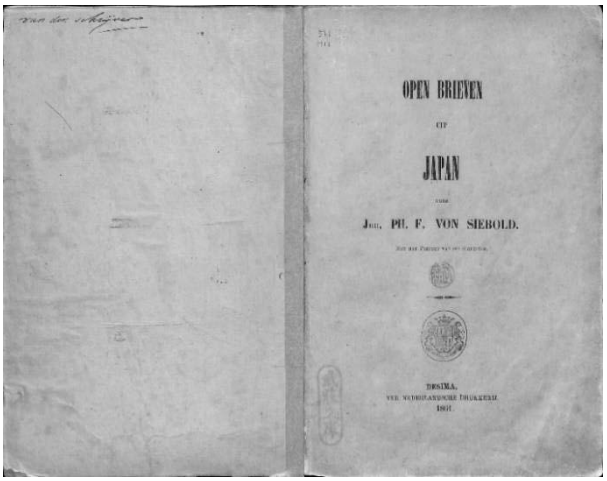
・表紙と裏表紙は厚紙で代用。

・最終ページに武藤先生自筆の標題紙情報の書き込み有り

・裏見返しに「長崎東衙官許」印有り



●*Open Brieven uit Japan*（シーボルトの『日本からの公開状』）

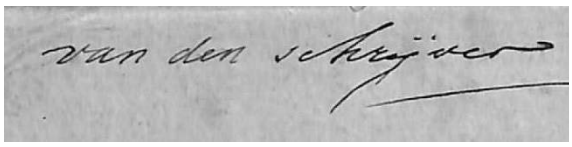


1861（文久元年）

図書 ID: 3820957　　請求記号：武藤文庫 502||M7

・洋紙

・表紙裏にシーボルト自筆で「van den Schnijver（著者より）」と記入あり。



・武藤先生がドイツの古書店で見つけて購入したもの。(17)

・シーボルト親子の石版画が有る版と無い版が存在するが，石版画がない版が出島での印刷物と思われる。現在その版の所蔵が確認されているのはミュンヘン国立民族学博物館と本学武藤文庫のみ。(18)

おわりにかえて

当館に所蔵する 3 点の資料に共通する「長崎版」についてまとめてみた。幕末に長崎で印刷された刊行物が日本の活版印刷の魁であったこと，その資料が当館に所蔵されていたことは感慨深いことであった。この歴史を鑑み，後世にこの所蔵する資料を残せるように，将来にわたり保存すべき責任を自覚して，大切に取り扱っていきたい。普段においては，カビや害虫を寄せ付けないことに気をつけ，修復が必要な部分については対応策を検討していく。

今後，所蔵していない長崎版や長崎版の種本について，可能であれば入手することを望むものであり，長崎版洋書が他に存在しないかを引き続き調査していきたいと思う。

(1) 武藤文庫とは，長崎高等商業学校（長崎大学経済学部の前身）の教授，武藤長蔵博士旧蔵の図書約 1 万点，絵画陶器類資料約 200 点にのぼるコレクションで本学貴重資料となっている。

(2) 長崎印刷百年史 36 頁
古賀十二郎：長崎洋学史上巻 697 頁

(3) 古賀十二郎：長崎洋学史上巻 699 頁
長崎奉行所は西役所と立山役所の 2 つがある。活字判摺立所には，“近代活版印刷の父”と呼ばれる本木昌造が取扱掛として名を連ねる。しかし彼は設立から 1 年ほどして坑業伝習掛に転じることになる。この頃は，塩田幸八と称して『和英商売対話集(安政 6 年)』と，増永文治と称して『蕃語小印（万延元年)』を発行している（古賀十二郎：長崎洋学史上巻 721 頁）

(4) 古賀十二郎：長崎洋学史上巻 695 頁

(5) 古賀十二郎：長崎洋学史上巻 700 頁
528 部摺ったが，現存するのは，国会図書館と慶応義塾大学図書館，天理大学図書館，京都外国語大学

図書館と少ない。

(6) 古賀十二郎：長崎洋学史上巻 708 頁

(7) 古賀十二郎：長崎洋学史上巻 709 頁
長崎幕末史料大成 3（開国対策編 1）長崎文献社 1970 手頭留　240 頁
五箇所宿老会所は旧長崎県庁裏門付近にあった（『長崎における英語教育百年史』長崎英語教育百年史刊行委員会編　1959　34 頁参照)。また，第二次海軍伝習教官の一員であった活版印刷技師インデルマウルが技術指導したことになっているが，出島オランダ印刷所版と比べて印刷の質に違いがあるのでどの程度関わったのかは疑問が残る。

(8) 古賀十二郎：長崎洋学史上巻 708 頁

(9) 古賀十二郎：贈従五位本木昌造先生略伝 26 頁
活字製造及び印刷術の発達 1934 に，「出島の印刷部屋に，たけの高い阿蘭陀活版師インドルマウルが頻に職工日本人たちを督励してゐる。そして室内の一隅に，蘭通詞本木昌造が，監督官として，椅子に腰を下ろしてゐる。」

(10) 長崎印刷百年史 長崎県印刷工業組合 1970 41 頁

(11) 石山禎一：法政史学(71)　フォン・シーボルトが創設した出島オランダ印刷所　69-73 頁
第二次海軍伝習で来日中のインデルマウルは安政 4 年（1857）12 月から江戸町の活字判摺立所で日本人を指導中であった。1859 年 12 月まで伝習所の一員であったところ 10 月にはシーボルトの下で印刷技師としての契約を取り交わしている。

(12) 前掲書　(11) 82 頁

(13) 長崎幕末史料大成 3（開国対策編 1）　長崎文献社 1970　手頭留（九）262-263 頁

(14)『洋学史事典』日蘭学会発行，470-471 頁

(15) 活字判摺立所での翻刻本の遊び紙には通常“長崎官吏點檢之印”が捺されている。なお，長崎官事という表記を用いている文献が散見されるが，彫られた印の書体が篆書体であるため「官吏」が正しい。

長崎官吏點檢之印

↑篆書体の官吏

↑篆書体の官事

(16) 長崎東衙とは長崎奉行所立山役所のこと。舶載された蘭書は立山役所で改印を捺されて売り捌かれた。

(17)『対外交通史論』武藤長蔵　東洋経済新報社　1943 253 頁

(18)『フォン・シーボルトが創設した出島オランダ印刷所』／石山禎一参照　石版画掲載の石版師と石版印刷担当者が出島にいた記録がないことから。

参考文献

・長崎印刷百年史　田栗奎作　長崎県印刷工業組合 1970
・洋学史事典　日蘭学会編　雄松堂出版 1984
・江戸幕府刊行物　福井保　雄松堂出版 1985
・フォン・シーボルトが創設した出島オランダ印刷所　石山禎一　法制史学(71) 2009
・天理図書館所蔵の長崎版並びに出島版について　神崎順一　ビブリア(103)1995
・幕末の洋書印刷物-活字による見分け方-　高野彰『本と活字の歴史事典』柏書房 2000
・長崎における英語教育百年史　長崎英語教育百年史刊行委員会編 1959
・本邦様式活版印刷史考　川田久長　書窓 2(5)
・翻訳書『民間格致問答』とその原語版『理学訓蒙』　幸田正孝　津山工業高等専門学校紀要(22) 1984
・幕末に作成・刊行された和刻洋書-長崎版の素材と構造-　鈴木英治・切坂美子　文化財情報学研究(8)
・日本印刷技術史第 10 章:洋式活版術の再来と石版術の渡来　中根勝 八木書店 2000
・崎陽論攷　親和銀行済美会 1964
・長崎洋学史上巻　古賀十二郎　長崎文献社 1966
・長崎幕末史料大成　3（開国対策編　1）長崎文献社 1970
・西洋醫術傳來史 古賀十二郎　日新書院 1942
・出島オランダ印刷所　朝日新聞長崎版昭和 39 年 12 月 6 日～昭和 40 年 9 月 21 日　35 回連載

図　書　館　紹　介

【九州大学附属図書館芸術工学図書館】

はじめに

芸術工学図書館の前身である九州芸術工科大学附属図書館が開館したのは 1972 年、それから 50 年後の 2022 年から 23 年にかけて図書館開館以来の大改修が行われました。

まずそれまで噴水広場に背を向けて反対側にあった入口が 180 度回転し広場側に開かれました。さらに隣接する情報基盤室と架橋されました。しかしこのたびの改修はたんに建物の物理的改造にとどまるものではありません。大橋キャンパスのクリエイティブな学びの場を創出するコンセプト「クリエイティブ・アクセス」の実現が改修を進めるうえでの目標でした。このコンセプトは具体的に図書館内部のそこかしこに反映されています。「アクティブラーニング・コリドー」と呼ばれる細長い回廊と、その名と一見対照的な閉鎖された小部屋群、静謐さを求められる図書館に不釣り合いな映像音響ラウンジ、など。これらは芸術工学部ならではのクリエイティブな活動を誘発するための仕掛けとして構想されました。他方、館内ゲートをくぐるとそこは静謐な書物の森の空間です。両者の空間が隣接し、知的作業と身体的作業とが接触し互いに触発される新たな学びの場が、新生芸術工学図書館です。(『九州大学芸術工学図書館改修の記録 2019-23』伊原久裕　より)

施設概要

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階建て
面積：1,816 ㎡
蔵書冊数：173,941 冊
座席数：171 席

館内案内

【1F　入口玄関】

噴水広場に背を向けて反対側にあった入口でしたが、改修により 180 度回転し広場側に開かれました。建物外側に新たに“Design Library”のサインも設置しています。

【1F　閲覧ホール】

改修により、竣工当時の照明が再現され、心地よい吹き抜けの空間が復活しました。木のぬくもりが感じられる無垢板の大きなテーブルの周りにはＹチェアなどのさまざまな名作椅子が並んでいます。

また、ホール内には、アントニ・ガウディの「サグラダファミリア」の 1/10 石膏模型を設置してい

ます。これは、1998 年に福岡市で行われたカタルーニャ州との市民文化交流イベントで展示された後、芸術工学図書館内で保存していたものですが、今回の改修後も引き続き館内で保存することとなりました。

【1F　映像音響ラウンジ】

優れた防音機能で、アンプやステレオを使うことができます。また吊り下げ式のディスプレイも使用でき、展示空間としても使えます。

【1F　視聴覚ブース】

CD、DVD、VHS、VHD、LD、カセット、レコードなどの再生機器を簡単な操作で切り替えて利用できます。視聴には、ヘッドフォンを使います。

【1F　特殊コレクション室】

建築、都市設計、デザインに関する希少なコレクションを所蔵しており、なかでもニューヨークのアストリアホテルの設計等を手掛けたロイド・モーガン(1892-1970)コレクションは、設計図面などの建築関係の資料以外にも造園、工芸デザインなどの関連資料を多数有する大規模なコレクションです。

【2F　書架エリア】

2 階の書架エリアには「芸術」、「自然科学」の図書を配架しています。また、新設の工学図書室に「工学・技術」分野の図書を配架しています。

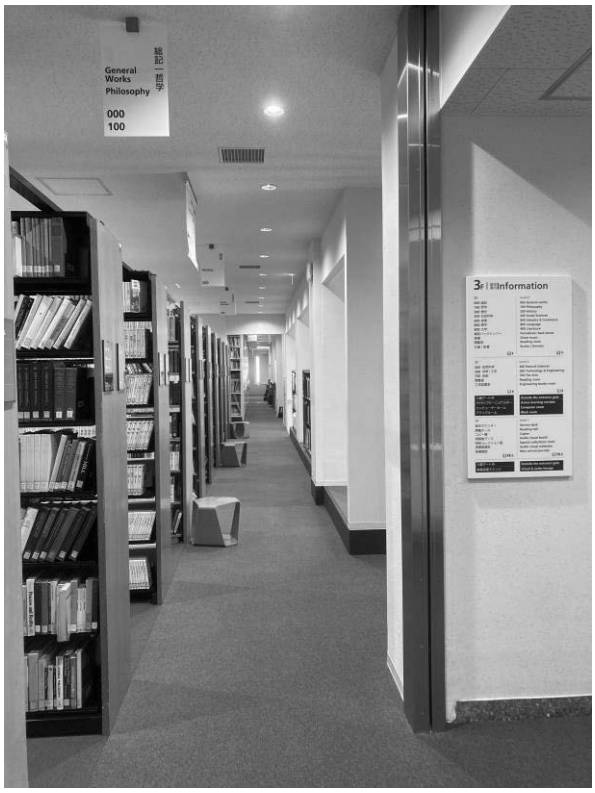
2 階の書架エリアは、隣接する情報基盤室の建物と架橋することにより、情報基盤室の一室に新たに工学図書室を開設しました。

【2F　アクティブラーニング・コリドー】

図書館に隣接する情報基盤室と接続したことで生まれた、会話ができる学習空間です。グループ席と個人ブースのどちらも備えています。入館ゲート外の階段を利用してアクセスすることができます。

【3F　書架エリア】

3 階の書架エリアには「哲学」、「歴史」、「社会科学」等の人文社会科学の図書を配架しています。さらに、ハンドル式集密書架を導入し、新書・文庫や雑誌バックナンバーを収蔵しています。



【3F　閲覧室】

色とりどりのガラスの IROMIZU ART の前に名作椅子コレクションが並ぶ閲覧室には、楽譜や九州芸術工科大学時代の資料などがあり、様々な感性を育む場となっています。

終わりに

芸術工学図書館は、1972 年の竣工から実に 50 年の年月を経て、この度の全面改修となりました。今回の改修ではキャンパス内に、時代に合った図書館のビジョンを描く機運が高まり、学生や教員、図書館職員が一緒に、自分たちが使う図書館を自分たちでデザインするという方針で進められました。

そこでは、前述の通り、図書館と情報基盤室を 2 階部分でつなぐことや、エントランスを改修前とは反対側に設置するといった大きな変更点も多々ありますが、同時に、1 階閲覧ホールの吹き抜けを照らす大型の丸照明や壁面タイルなど、あえて竣工当時の姿で蘇らせたものもあり、今回のこだわりとなっています。

今後、芸術工学図書館が、キャンパス内外の人がたくさん訪れる場所となることを期待しています。

加盟館ニュース（五十音順）

【大分大学】

コロナ禍において制限していたサービスの再開

2022年4月から段階的に再開していた通常サービスを、2023年5月8日からコロナ禍以前と同等に再開した。

講習会

レポートの書き方に関する講習会を5月に対面及びオンラインで開催したほか、データベース等の利用講習会を対面及びオンラインで開催して、資料及び動画をMoodle等で公開している。

レポートの書き方相談デスク

大学院生のチュータによるレポートの書き方相談デスクを4月から1月の間実施し、レポートの作成や学習に関する個別相談に対面及びオンラインで対応しているほか、レポートの書き方を分かりやすく解説するガイド資料等を作成・配布している。

企画展示

旦野原図書館では、図書館のサービス案内や資料の利用推進等を目的として、テーマを設けた展示を行っている。

新入生向けの展示や一般利用者の入館再開の時期に図書館内を案内する展示を行ったほか、大分県立美術館（OPAM）と連携した展示を11月に行った。

＜展示内容一覧＞

3月：芥川賞・直木賞受賞作
4月：入学おめでとう2023～新生活に役立つ本～
6月：分大図書館完全攻略ガイド2023
7月：卒論・修論執筆応援
9月：資格取得のススメ
10月：OPEN ACCESS WEEK2023
11月：秋の夜長の読書展
11月：テルマエ・オオイタ（OPAM連携企画）

11月の企画展示

大学開放イベント

11月5日の大学開放イベントで、旦野原図書館では以下のイベントを行った。

（1） 一般・娯楽雑誌の無償配布

図書館入口で雑誌の無償配布を行った。多くの方が雑誌を手に取り、嬉しそうに持って帰る姿が見られた。

（2） 300冊の絵本ひろば

談話エリアに絵本・児童書約300冊を配置した。設置した本の貸出もあった。

（3） 絵本の読み聞かせ会

教育学部の学生を読み手とした読み聞かせ会を行った。絵本に合わせて運動する内容もあり、参加者達が楽しそうに体を動かしていた。

（4） スタンプラリー～図書館クエスト～

館内 4 か所にスタンプを設置し、スタンプラリーを行った。157 名の参加があり、楽しそうに館内を探検する様子が見られた。

「ハンドルを回して動く本棚があってびっくりした。」「全部スタンプを押してプレゼントがもらえて嬉しかった。」という感想があった。

【鹿児島大学】

中央図書館に「SDGs コーナー」を設置

5 月 1 日より、中央図書館 2 階アメニティルームに「SDGs コーナー」を新設した。

これからの社会の担い手である学生が本学の基本理念である「進取の精神」を有して現代社会が抱える課題に果敢に挑戦し、持続可能な社会づくりに向けて学び、考え、行動できるきっかけとなるよう、また、多くの方に SDGs について知っていただく機会になればと、SDGs の入門書をはじめ、17 の目標毎に分かりやすく整理した書籍を揃えている。

展示コーナーには、本学の SDGs への取り組みのキャッチコピー“「鹿児島大学×SDGs」～「進取の精神」で持続可能な社会づくりに挑戦する～」”に図書館職員が作成したデザインを加えた図書館オリジナルの SDGs ロゴや、17 の目標毎に 17 色のサインを配置し、カラフルで親しみやすい展示となるようにした。

なお、本学では SDGs への取り組みについて、教職員のみならず、学生および関係者が一丸となり、「オール鹿大」で SDGs 達成の推進に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献することとしている。

図書館職員作成の SDGs コーナーロゴ

中央図書館 2 階の SDGs コーナー

【鹿屋体育大学】

「レポート作成等対策セミナー」の実施

令和５年２月 14 日（火）～令和５年２月 17 日（金）の４日間、本学大学院生をピアサポーターとし、学部学生及び研究生を対象とした、「レポート作成等対策セミナー」を実施した。

初の試みで、参加者からはおおむね好評だったが、改善点もみられた。

今回の内容を見直し、ピアサポートについて今後検討していく予定である。

研究交流会の実施

令和５年３月５日（日）に令和３年６月にオープンした『成田文庫（体育・スポーツ学研究の第一人者で筑波大学名誉教授である成田十次郎先生が寄贈された資料を集めた文庫)』を活用しての研究交流会を開催した。

当日は、学内外の研究者と本学大学院生・研究生が参加し、実際の『成田文庫』資料の閲覧後、成田先生のご業績を振り返りながら、『成田文庫』の意義と活用法について意見交換が行われ、体育・スポーツ史研究の新たな可能性について考える機会となった。

七夕飾り

令和５年６月～7 月、図書館内に七夕飾りの装飾をし、利用者に願い事を書いてもらう企画を実施した。

多くの願い事が短冊に書かれ、とても賑やかな雰囲気の館内となった。

高校生の職場体験学習

令和５年７月 10 日（月）～13 日（木）の４日間、地元の高校生が職場体験学習のため、図書館の業務体験を行った。

配架作業、館内の装飾、蔵書点検等、図書館の様々な業務を行った。

体験した高校生からは、「普段体験しない大学図書館の仕事に触れ、司書の仕事への興味をあらためて持った」と感想を得ることができ、図書館の仕事を広める良い機会となった。

【北九州市立大学】

図書館総合展　ポスターセッションに参加

第 25 回図書館総合展 2023 に、ポスターセッションで参加した。(2023 年 10 月 24 日～25 日：パシフィコ横浜及びオンライン)

次の 2 つのテーマでポスターを作成した他、図書館総合展のオンラインページの作成も行った。

テーマ①

『コロナ禍で変化した学習支援について

～「図書館ツアー」を中心として～』

従来、新入生向けの図書館ツアーは「館内案内」と「情報検索講座」を行っていたが、2020 年のコロナ禍で対面実施ができなくなり代替となる動画コンテンツを作成したこと、その後、徐々に対面実施を開始したことなどを、ポスターでは年度毎にまとめた。

←ポスター①(イメージ)

＜ポスター 見出し＞

・背景
・2019 年度の実施状況
・2020 年度の取り組み
・2021～2022 年度の取り組み
・2023 年度の取り組み
・今後の課題

テーマ②

『大学図書館にマンガコーナーを作りました』

図書館では、2019 年度から学内研究助成を受けて教員と図書館職員協働で研究活動を行っている。

←ポスター②

(イメージ)

その活動の一環で「北九州市漫画ミュージアム」との交流が始まり、漫画資料を寄贈いただけることになった。

寄贈いただいた資料配架に際し、新しく「マンガコーナー」を作ったこと、OPAC での検索キーワード、いただいたタイトルの一部、貸出状況などをコーナーの写真と共に紹介するなど、一連の取り組みをまとめた。

＜図書館総合展でのポスター発表＞

秋の読書月間　～本を見つけに行こう！～

11 月を「北九州市立大学図書館　秋の読書月間」とし、トークイベントや展示など様々な企画を実施した。今年はイベントや利用者参加企画に参加した方には、図書館ガチャで、図書館サポー

＜秋の読書月間　告知ポスター＞

ターオリジナル缶バッジをもらえるお楽しみ企画を用意した。

①トークイベント「本の森」

2 名の先生方に登壇いただき、本に関するお話をしていただいた。学生、教職員含めた参加者で会場の図書館ホールは満席となり、終了後も登壇者と参加者の交流を深めた。

・清藤　隆春先生（国際教育交流センター）
「異教の隣人」を想像してみよう

・松尾　太加志先生（前学長）
「私の本棚」

※ポスターと登壇者の変更あり

②利用者参加企画

・ダイバーシティ関連本を選ぼう！

・秋はやっぱり読書！（本を一度に 3 冊以上借りたらガチャが利用できる。）

③企画展示

・キネマ旬報で振り返る懐かしの時代
With 図書館の雑誌たち

・おいでよ！ほんやくの森

④リサイクル（除籍）資料を自由に持ち帰り

＜図書館ガチャ＞

＜図書館サポーター オリジナル缶バッジ＞

毎年恒例！「恐怖展」

毎年恒例・夏の企画展示「恐怖展」を 7 月～9 月初旬に行った。例年展示しているテーマ別（怪・死・怖・幽・災・呪・争）の恐怖にまつわる本の他、今年はこれって怖い？と思えるような本を選んだ。また、図書館サポーターが選んだ恐怖にまつわる本も展示した。

＜恐怖展の様子＞

【九州工業大学】

スマホ入館証の導入

2022 年 4 月からの試行を経て、2023 年 4 月よりスマホ入館証のサービスを正式導入した。本サービスは、図書館 LINE 公式アカウントまたは図書館ウェブサイトに表示される入館証アイコンから本学の認証システムの ID/PW を入力し、表示されるバーコードを入館ゲートにかざせば入館が可能になるというものである。表示されるバーコードには日にちと時間(秒単位で経過)を表示させることでスクリーンショットではないことを確認できることから、貸出も可能にしている。学生証を毎回取り出す必要がないことから、学生には好評である。

新入生歓迎企画「戸畑キャンパス縦断デジタルスタンプラリー」を実施(戸畑本館)

4 月 6 日（木）～19 日（水）に、新入生歓迎企画として図書館を含めたキャンパス内 5 施設を巡るデジタルスタンプラリーを実施した。これはスタンプラリーを通じて新入生のうちに学内施設を利用することで、今後利用する際の心理的ハードルを下げることを目的としたものである。約二週間の期間中に 120 名近くが参加し、各施設にも 50 名以上の学生が訪れた。

スタンプラリーは、参加者が各自のスマートフォンで特設サイトにアクセスし、各施設の場所と課題を確認後、実際に施設に赴いて課題をクリアしたら QR コードを読み込んでスタンプを取得するという流れで行った。各施設の課題は、クイズに答える、ポスターを見る、設備を使用するなど担当部署で自由に設定した。図書館の課題は、入館ゲートを通ってカウンタースタッフに声を掛けるというもので、高校までの図書館では馴染みのないゲートやスタッフに慣れてもらうことを意図して設定した。

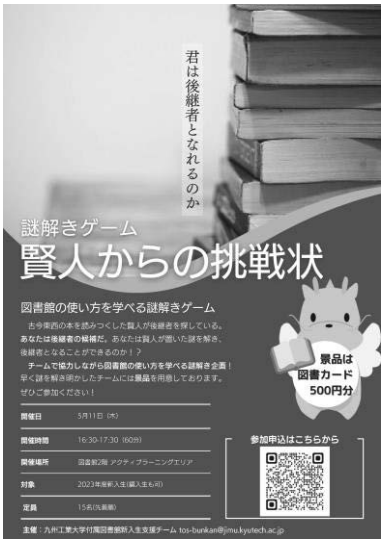
イベントポスター

スタンプを集めた数によって景品がもらえることもあってか、当初の想定より多くの学生が参加し、コロナ禍以降久しぶりの春らしい賑わいを創出できた。

館内を巡る謎解きゲーム「賢人からの挑戦状」を開催（飯塚分館）

学生スタッフによる、館内を会場にした謎解きゲームを開催した。今回は、参加チームの解決までのタイムを競うタイムトライアル方式と、開館中であればいつでも挑戦可能な自由参加方式の 2 つの方式で開催した。謎の設置場所を示すマップにはおおよその場所しか示されおらず、中には天井に張り付けるなど見つけがたい場所に設置され

ているものもあり、参加者は必然と館内を探索するような作りになっている。参加者からは楽しかったとの声が多く聞かれ、図書館の広報と併せて館内施設を把握してもらう機会に繋がった。



イベントポスター

【九州大学附属図書館】

1. 研究データ管理・公開ポリシーの策定

2023 年 3 月、本学では「九州大学研究データ管理・公開ポリシー」「同解説」を策定し公開した。これらは、2022 年 4 月に設置されたデータ駆動イノベーション推進本部の研究データ管理支援部門内に、ポリシー策定のためのワーキンググループを組織し半年以上にわたり検討をおこなったもので、各研究院の研究者や知財関係・セキュリティの専門家に加え、図書館職員もメンバーとして参画した。

2. 「中村哲先生の志を次世代に継承する九大プロジェクト」の取り組み

(1) 国立大学図書館協会賞を受賞

本プロジェクトの取り組みにおける功績により、九州大学附属図書館 e リソース課リポジトリ係が、令和 5 年度国立大学図書館協会賞を受賞した。同プロジェクトは、附属図書館に事務局を置き、「中村哲著述アーカイブ」の構築をはじめ、展示スペース「中村哲医師メモリアルアーカイブ」運営、授業「中村哲記念講座」（基幹教育総合科目）を柱として、教員や学生のほか、学外団体や関係者もふくめた沢山の方々と連携・協働しながら取り組みを進めている。

今回の受賞では、中村哲先生の著述や活動記録という、独自性が高く、社会的にもインパクトのあるコンテンツをインターネット上の開かれた知として共有するため、大学が社会・地域と連携して取り組み、人と情報をつなぎながら研究・教育・交流を支援している活動内容について、「図書館の強みを全面的に活かしたものであり、図書館機能のあり方を示すひとつの形」として高く評価された。

(2) 現地活動写真展・ドキュメンタリー映像上映会を開催

2023 年 7 月 14 日（金）～9 月 30 日（土）、中央図書館において、写真展「写真で見る 中村哲医師の現地活動―人と人、人と自然の和解を探る―」を開催した。この写真展では、中村哲医師の 35 年にわたるパキスタン・アフガニスタンでの現地活動を、NGO ペシャワール会からお借りした写真パネル約 150 点を通して紹介した。会場には幅広い年齢層の方が観覧に訪れ、じっくり時間をかけて氏の活動を辿る姿が見受けられた。

また、2023 年 11 月 4 日（土）には、九州大学アカデミックフェスティバル関連企画として、中村哲医師のドキュメンタリー映像上映会を開催した。長短 7 本の映像作品をリレー形式で上映し、中には全作品を通して観る学生がいるなど、氏の思索と実践を様々な角度から深く理解することのできるイベントとなった。

3. 「知をつむぐ－東西の古医書―」展を開催

医学図書館 1F 展示室において「知をつむぐ－東西の古医書―」を開催し（2023 年 8 月 1 日（火）～10 月 31 日（火））、同展示会を電子展示としても公開した。

附属図書館では、本学の代表的な貴重書および資料群をより広く知っていただくことを目的として、冊子『知をつむぐ―九州大学の書物たち―』を発行しており、今回の展示では、この『知をつむぐ』に掲載した東西の古医書を中心に、当館所蔵コレクションの一部（約 20 点）を紹介した。

期間中のべ 829 名の来場があり、オープンキャンパスに合わせて実施したことから、学外からの観覧者も多かった。観覧者アンケートでは「貴重な資料がこんなにたくさん収蔵されていることに驚いた」「静謐な空間で知の躍動感あふれるものでした」など大変高評で、展示の継続を求める声もあった。

4. アンケート＆座談会「医学図書館の使い心地いかがですか？」を開催

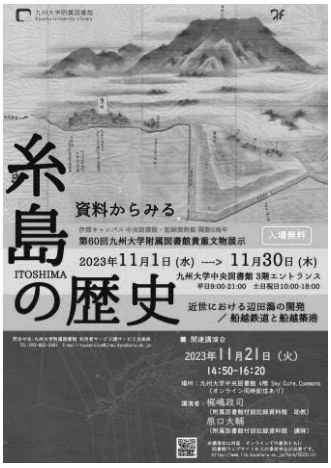
2022 年 10 月のリニューアルオープンから 1 周年を迎える機会に、新しくなった医学図書館に対する利用者の意見等を収集することを目的として、おもに学生を対象としたアンケートを実施し（実施期間:2023 年 9 月 11 日(月)～10 月 19 日(木)）、学生 7 名と職員 3 名による座談会を開催した(2023 年 10 月 27 日（金)）。

アンケートは 65 名から回答を得た。改善してほしいところとして、「暑さ」について非常に多くの意見が寄せられた。その他、「蔵書」や「貸出条件」、「利用マナー」についての意見があった。図書館の好きなところとしては、「無人開館を実施していること」、「リニューアルした館内の清潔さ」、「集中できる学習環境」に関する回答が大部分を占めた。

座談会では、アンケートの結果を踏まえ、活発な意見交換が行われた。職員が把握できていなかったニーズも多く、実際に図書館を利用している学生の声を聞くことの重要性を確認できた。

寄せられた意見・感想を今後の図書館運営に活用し、より快適な図書館を目指していきたい。

5. 貴重文物展示「資料からみる糸島の歴史」を開催



附属図書館では、所蔵する貴重資料を広く公開するため、毎年、貴重文物展示を開催している。今回は、第 60 回という節目の開催にあたり、また、伊都キャンパスに中央図書館と記録資料館が全面開館して 5 周年を記念するイベントともなった。展示会は、中央図書館を会場に、2023 年 11 月 1 日（水）から 30 日（木）まで実施した。本学伊都キャンパスが立地する糸島の歴史をテーマに、三苫家文書、三奈木黒田家文書、麻生家文書など主に記録資料館が持つ歴史資料を公開した。

あわせて、11 月 21 日（火）には、展示の監修者である記録資料館の梶嶋政司助教および原口大輔講師による講演会も実施した。来場された地元の方々から、講演者に対して複数の質問が寄せられ、盛会となった。来場者アンケートでも「郷土の人間としてうれしいです」といったコメントや「地域の人はもちろん糸島以外の人にも、講演会等を通して史料を有効に活用できることを実感しました」といった感想があった。

なお、当貴重文物展示は「九州大学デジタル資料整備事業」の寄附金によりご支援いただいた。

6. 特別展示「『学徒出陣』から 80 年目を迎えて」を開催

2023 年 12 月 2 日（土）から 25 日（月）まで、九州大学大学文書館および文学部同窓会との共催で、特別展示「『学徒出陣』から 80 年目を迎えて」を開催した。中央図書館を会場に、本学における 80 年前の学徒出陣の状況を示す写真パネルや出陣学徒の手記など、100 点を超える資料を展示した。学業半ばで出征した往時の学徒たちの様子に真剣に見入る学生や教職員、OB の姿が見られ、大学で学ぶことの意義や、戦争と平和について考える機会となった。

多方面からの要望を受け、当初、約 2 週間としていた会期を、1 週間ほど延長した。また、新聞やテレビといった複数のメディアで取り上げられるなど、学内にとどまらず、学外からも大きな反響があり、多数の一般市民も観覧に訪れていた。

【熊本学園大学】

「ラーニング・コモンズ（LC）10 周年記念イベント」開催

熊本学園大学付属図書館に設置されたラーニング・コモンズ（LC）が今年(2023 年)9 月 20 日でグランドオープンから 10 周年を迎えることを記念して、9 月 19 日（火）から 9 月 22 日（金）までの 4 日間にわたり LC にてさまざまなイベントを行った。

本学では LC 開設に合わせて、図書館の利用に関するさまざまなサポートを行う「学生コンシェルジュ」を設置している。今回の「LC10 周年記念イベント」の開催にあたっては、学生コンシェルジュが中心となって企画の立案を行い、「手話教室」「教員によるトークショー」「くずし字」「デジタル禁止クイズ（レファレンスゲーム）」「英語の絵本読み聞かせ」「TRPG（テーブルトーク・ロール・プレイング・ゲーム）」といったイベントを実施した。「教員によるトークショー」「英語の絵本読み聞かせ」では本学の教員が、「手話教室」「TRPG」

はそれぞれ学生の手話サークルと TRPG 同好会がイベントに協力した。

この他、4 日間通して LC でビジュアルアート部によるビジュアルアートの展示を、AV ホールでは過去の名作や話題作を中心に 4 日間で 11 作品を上映する「映画上映会」を実施した。

参加者には、スタッフが製作したオリジナルのグッズ（しおり・ポストカード）が贈呈された。

イベント 4 日間を通して延べ 50 名以上の学生などが参加し、終了後のアンケートでも「多くのイベントがあり楽しかった」「勉強になった」「また実施してほしい」など肯定的な評価が得られた。

コロナ禍によりしばらくイベント等の開催もままならない状況が続いていたが、久しぶりに利用者に楽しんでもらえるイベントが実施でき、教員やサークルとのつながりもできる有意義な 4 日間となった。

なお、今回のイベントの反応を受けて 10 月 10 日（火）の「旧体育の日」には本学ライフ・ウェルネス学科の教員による「海外のスポーツ事情」をテーマとしたトークショーが開催された。今後も随時イベントを行う予定である。

イベント告知のポスター

イベントの様子（英語の絵本読み聞かせ）

イベントの様子（教員によるトークショー）

オリジナルグッズ（しおり・ポストカード）

【熊本大学】

第 15 回熊本大学東光原文学賞・受賞作発表（1 月）

熊本大学東光原文学賞は 2023 年で第 15 回を迎えた。第 15 回から、大賞を学長賞へ、優秀賞を附属図書館長賞へと変更し、令和 5 年 1 月 13 日開催の表彰式において学長賞 1 篇、附属図書館長賞 3 篇を発表した。

学長賞は「紡がれし者たち」、附属図書館長賞は、「妄執：いつも、どこまで」、「L への憧憬」、「まことの海」。受賞作品は、令和 5 年 3 月に刊行した『第 15 回熊本大学東光原文学賞作品集』（冊子）で読むことができ、過去の受賞作はすべて図書館ホームページで公開している。

（https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/tokogen_award）

第 16 回の文学賞は令和 5 年 11 月 7 日まで作品を募集し、令和 6 年 1 月の表彰式にて受賞作を発表する。

中央館の入退館システムを更新（２月）

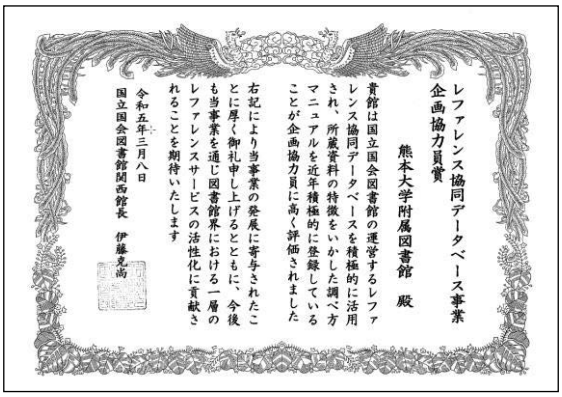
経年劣化により、起動不全やフリーズ等が頻発していた中央館の入退館システム（平成 25 年度に更新）について、Windows10 サポート終了後も利用できる環境へ更新した。入館ゲート数・退館ゲート数や入退館方法等の基本要件は変更なし。

オープンアクセス方針を策定（３月）

「熊本大学オープンアクセス方針」（令和 5 年 3 月 23 日　教育研究評議会審議了承）を定め、本学の研究成果のオープンアクセスを推進している。

国立国会図書館「レファレンス協同データベース事業企画協力員賞」を受賞（３月）

熊本大学附属図書館は国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベースに参加しており、令和 4 年度に「所蔵資料の特徴をいかした調べ方マニュアルを近年積極的に登録している」と高く評価を受け、国立国会図書館より「レファレンス協同データベース事業企画協力員賞」を受賞した。公益財団法人永青文庫から寄託を受けている古文書や本学所蔵の松井家文書の調べ方案内に関する事例を積極的に登録したことが評価された。引き続き同事業について、参考となる事例の登録を行い、データベースの充実に協力していきたい。


レファレンス協同データベース事業
企画協力員賞

熊本大学附属図書館　殿

貴館は国立国会図書館の運営するレファレンス協同データベースを積極的に活用され、所蔵資料の特徴をいかした調べ方マニュアルを近年積極的に登録していることが企画協力員に高く評価されました

右記により当事業の発展に寄与されたことに厚く御礼申し上げるとともに、今後も当事業を通じ図書館界における一層のレファレンスサービスの活性化に貢献されることを期待いたします

令和五年三月八日
国立国会図書館関西館長　伊藤克尚

公益財団法人田嶋記念大学図書館振興財団からの助成事業「動画と 2 次元バーコードを活用した蔵書点検の実証実験」が完了（３月）

田嶋記念大学図書館振興財団の助成により、「動画と 2 次元バーコードを活用した蔵書点検の実証実験」を行った。実施概要は、①蔵書の背表紙に QR コード（図書 ID）を張り付けて、書架に並べる ②①の書架をカート等に乗せたカメラで動画撮影 ③②で撮影した動画を解析し、動画中の QR コードから図書 ID を読み取る　④③で読み取った図書 ID を蔵書点検に使用できるかどうか実用性・可能性を探る　のとおりとし、都度手法や改良点等を検討しながら実施した。QR コードの認識率は平均で 91%と高い水準であったが、冊数にすると 100 冊中 9 冊は再読み込みが必要であるため、実用化にはさらなる検証と課題解決が必要であることが分かった。

新型コロナウィルス感染症対策措置終了後の開館状況について

新型コロナウィルス感染症対策措置の終了により、中央館において、ラーニングコモンズの利用

再開（6 月）、グループ学修室の提供再開（8 月）、リフレッシュルームの利用制限解除（5 月）、一般市民利用再開（5月）など、利用制限の段階的な緩和を行った。分館においても順次制限を撤廃した。

クラウドファンディングを実施（10 月-）

熊本大学附属図書館が所蔵している古文書「松井家文書」は織田信長の時代から江戸時代終末まで細川家を支えた重臣である、熊本藩の第一家老で八代城主であった松井家に伝来した約 3 万 6 千点に及ぶ藩政資料群で、近年、「松井家文書」からは研究により宮本武蔵の記述をはじめとする近世史の重要な記録が相次いで報告されている。

一方、現在の松井家文書は、経年や虫食いによる劣化が多数生じ、消失の危機に瀕している文書も多く、修復が急務である。そのための施策として、10 月よりクラウドファンディングを開始した。クラウドファンディングにより資料の修復を行うとともに、修復した資料の画像データ化を行い世界中へインターネット公開するために、国際規格 IIIF に対応したデジタルアーカイブの構築も目指すこととした。目標金額は 300 万円で、期限は令和 6 年 1 月 22 日まで。

第 38 回熊本大学附属図書館貴重資料展「甦る歴史資料群―修復された絵図・古文書展―」を開催（11/2～11/4）

第 38 回目となった今回の貴重資料展は、直近 5 年間に一流の職人たちの手によって甦った貴重資料を中心に、バラエティーに富んだ多くの初公開資料を計 38 点、展示・公開した。期間中には、貴重資料の修復を手掛けられた修理工房宰匠株式会社の藤井良昭代表取締役および本資料展を監修した永青文庫研究センター長　稲葉継陽　教授による公開講演会 / 第 17 回永青文庫セミナーも開催した。

三日間限定の貴重資料展は、卒業生・一般市民を含む 413 名が訪れ盛況であった。

（資料展の様子）

【佐賀大学】

1. 図書館フェスタ（図書館ポイントカードおよび学生Web選書）開催

令和 4 年 12 月 15 日～令和 5 年 2 月 28 日、来館のきっかけづくりとして、図書館の利用に応じたポイントを付与し、そのポイント数により図書カードを配布した。また、蔵書の充実並びに学生の学修及び研究の支援を図るため、学生 Web 選書ツアーを行い、学生が希望する図書（電子書籍を含む）を購入した。

2.「貴重書に見る昆虫の世界展」開催

令和 5 年 9 月 16 日～18 日に日本昆虫学会第 83 回大会が佐賀大学で開催されることに合わせて、県内各施設で昆虫関連のイベントを行う「SAGA むし結び」のイベントが開催された。当館もコラボ企画として、所蔵の「市場直次郎コレクション」の中から昆虫が描かれた貴重書を展示した。また、関係教員の著書や所蔵の関連図書、佐賀大学の昆虫に関する研究業績についてもパネル展示を行った。

3. 図書館月間 2023

読書週間にあわせ毎年 10 月末から 11 月末の期間を「図書館月間」として、各種イベントを開催している。今年度は、附属図書館本館エントランスホールにて二期に分けて図書館月間展示を開催した。

一期は、10月20日から11月12日まで、「牧野富太郎の図書展」を開催した。

当館で所蔵している牧野富太郎博士の植物図鑑等を紹介し、関連図書も展示した。

二期は、11 月 15 日から 12 月 10 日まで、地域学歴史文化研究センターとの共催で、貴重書コレクション小城鍋島文庫展「小城藩日記の世界」を開催した。

藩主の行動や役人の人事、佐賀藩との交渉など藩の公務に関わることがらを記録した「小城藩日記」から描き出される近世小城の歴史の一部を紹介し、関連図書も展示した。

4. 佐賀県内図書館物流に正式参加

昨年度、試行的に参加していた佐賀県内図書館物流に、令和 5 年度から正式に参加することを決定した。

佐賀県内の公共図書館では、平成 22 年度から、独自の物流体制を構築し、佐賀県立図書館がその業務委託費用を負担することで相互貸借を行っている。この物流体制に参加することにより、県内

の公共図書館との図書の相互貸借は無償で行うことができるようになり、かつ週に 3 回の集荷と配送があり、利用者にとっても利便性が向上している。

5.「としょかん秋の選書まつり」開催

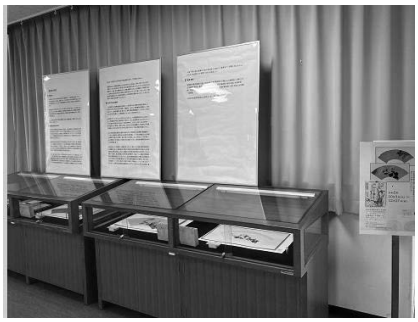
令和元年度までは、毎年夏休みに学生と書店に赴き選書を行う学生選書ツアーを開催していたが、近年はリクエスト用紙と web で受け付けており、今年度も同様に実施した。

「学生選書コーナー」は貸出数の多いコーナーとなっている。

6. 常設貴重資料企画展開催

所蔵の貴重書「小城鍋島文庫」及び「市場直次郎コレクション」から、3 か月ごとにテーマを選び、本館貴重書展示エリアで展示している。今年は次のテーマで企画展示を行った。

・小城鍋島文庫と和歌
・浮世草紙と花
・佐賀藩と小城藩
　－本家と分家の複雑な関係－
・黄表紙と秋



7. 図書テーマ展示

季節等に合わせて、図書館フェスタで学生から募集したポップとともに、1 か月ごとにテーマを選び企画展示を行った。

「本と映画と」「直木賞・芥川賞・歴代本屋大賞受賞作」「新しい学びへ」等のテーマで、関連図書とともに展示した。

8. 大学院生のインターンシップおよび中学生の職場体験学習

9 月に、県外の大学院生 1 名が 5 日間のインターンシップのため、地元の中学生 2 名が 2 日間の職場体験学習のため来館し、図書館業務を行った。カウンター業務をはじめ、普段は目にしない発注、受入から目録、配架までの裏方の業務一つ一つに取り組んだ。大学図書館の業務の多さや作業の大変さを実感でき、また仕事への取り組み方、進め方等について学べ、貴重な経験となったとの感想が寄せられた。

【長崎大学】

「学生のための大学図書館へ」をスローガンにサービス向上の取り組み

本学図書館では、令和 3 年度から「学生のための大学図書館へ」というスローガンのもと、サービス向上のミッションを職員一丸となって推進している。今年はミッションの 3 年目に入り、入館者数はコロナ前の令和元年度の約 67%まで増加している。反面、貸出数の減少が続いていたところだが、4 月には新入生を主なターゲットに、貸出促進の取り組みを行い前年度比 10%増と回復の兆しを見せている。

図書館サービスに関するＷＥＢアンケートを実施

図書館利用者のニーズを探るため、6 月 24 日～7 月 31 日にかけて図書館サービスに関するＷＥＢアンケートを実施した。対象は長崎大学の学生・教職員で、総回答者数 465 人（内、学部学生 341 人、大学院生 25 人）だった。図書館への要望、質問、意見等の中で、即座に対応したものや既に対応済みのサービスなどについて、一問一答形式で館内に回答を掲示し、X（旧ツイッター）でも発信した。

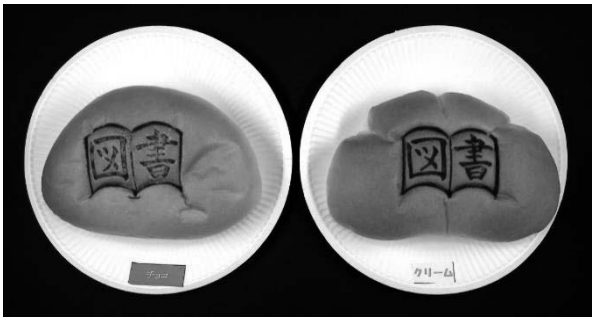
ＳＮＳによる情報発信

平成30年3月に開始した長崎大学附属図書館ツイッター（現 X）のフォロワーが令和 5 年 4 月に 1000 人に達した。また、令和 3 年 7 月から開始したインスタグラムのフォロワーが令和 5 年 6 月に 600 人に達した。一方、年に 3 回発行していた図書館報「和華蘭の窓」については、令和 4 年度から年 1 回の発行とした。今後とも学生のニーズに沿った情報発信を行っていく。

館内飲食制限の緩和と「図書パン」の販売拡大

新型コロナウイルス感染防止のための制限緩和に伴い、令和 5 年 4 月から館内の食事可能エリアの再開、医学分館自動販売機での食品販売の開始を行った。

令和 4 年から経済学部分館で開発・発売して話題となった「図書パン」について、令和 5 年度は、医学分館内自動販売機、本部地区の生協売店など



チョコパン＆クリームパン

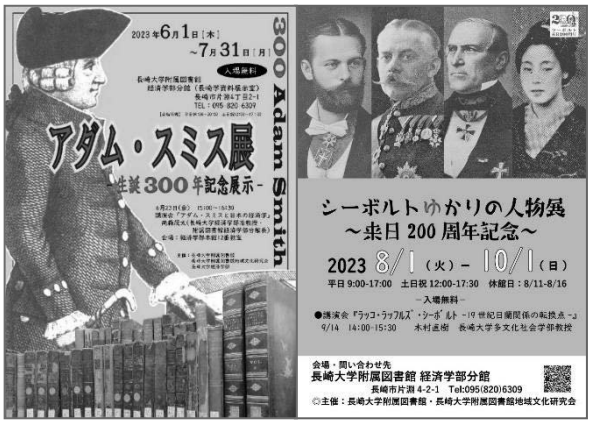
へ、販売を拡大した。また、4 月には新たに食パンタイプ、7 月にはチョコパン、クリームパンを発売した。

「アダム・スミス展-生誕 300 年記念展示-」開催

経済学部分館はアダム・スミス生誕 300 年を記念し、同館が所蔵する「国富論」初版など関連書籍を展示した「アダム・スミス展」を開催した。会期は 6 月 1 日から 7 月 31 日の 2 か月間で、総入場者数は 967 名だった。

関連イベントとして、6 月 23 日（金）には南森茂太経済学部分館長による講演会「アダム・スミスと日本の経済学」を開催した。

100 年前には長崎大学経済学部の前身である長崎高等商業学校で「生誕 200 年展示会」が開催されており、それに続く 300 年記念展示となった。



「シーボルトゆかりの人物展～来日200周年記念」開催

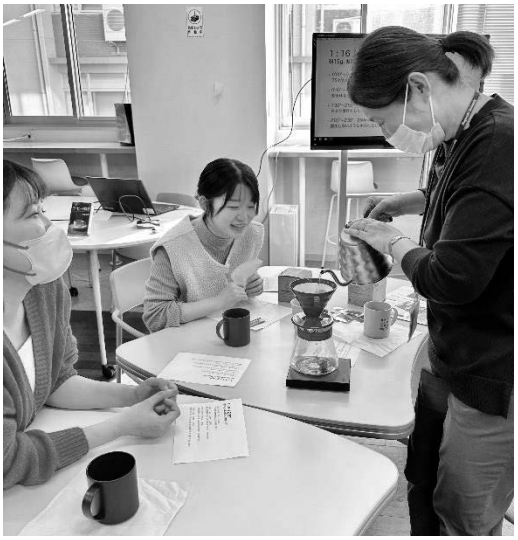
シーボルトの来日 200 周年を記念して、経済学部分館では「シーボルトゆかりの人物展」を開催した。当初の期間予定を前後に拡張し、7 月 15 日から 11 月 12 日までの開催とし、入場者数は 999 人だった。期間中の 9 月 14 日（木）には、関連イベントとして附属図書館地域文化研究会の一員でもある木村直樹氏（多文化社会学部教授）による講演会「ラッコ・ラッフルズ・シーボルト-19 世紀日蘭関係の転換点-」を開催した。

また、今年、長崎市ではシーボルト来日 200 周年を記念し、多くの行事が行われ、長崎大学附属図書館は資料提供などの協力を行った。そのうち、長崎歴史文化博物館で開催された「大シーボルト展」には、経済学部分館所蔵の「鳴滝塾舎之図」をはじめ、中央図書館、医学分館からも、合わせて 9 点の資料を出陳した。

Library Lovers’ Nagasaki 2023（10/23～11/19）の開催

長崎県大学図書館協議会の加盟館が開催する Library Lovers’ Nagasaki キャンペーンは今年 8 回目を迎えた。ポスターとオリジナルグッズを共有し、合同企画として各館の職員おすすめの本の紹介文が裏面に書かれたオリジナル栞を配布したほか、各館独自の企画を展開した。

中央図書館では、クイズラリー「がんばれでじまくん！フクロウ館長の書評本を探せ！」として、クイズを解いて実際に書架に配置された架空の図



ライブラリーラウンジでドリップ体験

中央図書館クイズコーナー

書を探してもらった。また、専門家を招きコーヒーのドリップ体験を含むコーヒーセミナー「Coffee×Library」を開催し好評を博した。

医学分館では、クイズゲームイベントのほか、医学の名言入り返却期限票を使用するなどした。経済学部分館では長崎学クイズラリーと、DVD 上映会を開催した。

そのほか、恒例の選書イベントや各館での特集展示等も行い、テーマである「もっと図書館が好きになる」に沿った楽しい雰囲気を演出した。

職場体験学習の受け入れ

「総合的な学習の時間における職場体験学習」として教育学部附属中学校 3 年生の 3 名を附属図書館で受け入れた。8 月 29 日～30 日の 2 日間、図書の発注・受入・目録・装備、書架整理、カウンター業務、館内展示作業などを実習した。

展示のテーマ決めのミーティング

オープンアクセス方針の策定

「長崎大学オープンアクセス方針」及び「長崎大学オープンアクセス方針実施要領」が 10 月 18 日の附属図書館委員会で承認された。出版社、学協会、学内部局等が発行する学術雑誌等に掲載された、本学に在籍する教員による、公的研究資金を用いた研究成果を、長崎大学学術研究成果リポジトリによって公開することを定めている。

長崎大学学術研究成果リポジトリ「ＮＡＯＳＩＴＥ」は 7 月 4 日にWEKO3 にバージョンアップした。令和 4 年度末の総登録数は 27,984 件である。

地域文化研究会公開講演会

教員を中心とした長崎大学の分野横断型研究グループ「附属図書館地域文化研究会」は、令和 5 年 1 月 27 日、長崎歴史文化博物館 1 階ホールにて市民参加の公開研究会を開催した。講師はルディ・トート氏（多文化社会学部助教）で、「平戸・出島オランダ商館員の日本語習得とその禁止・許可をめぐって-17 世紀を中心に-」と題し講演を行った後、一般市民を含む 30 人の参加者により活発な質疑応答が行われた。

グラバー図譜カレンダー2024

長崎大学附属図書館地域文化研究会は、「グラバー図譜カレンダー2024～スジの通った魚たち」を製作し、11 月に販売を開始した。「グラバー図譜」は長崎大学が所蔵する精緻な魚類の肉筆画であるが、カレンダーでは紙質・発色等にこだわって図譜を再現している。それだけでなく、描かれた魚にそっくりの実際の魚を釣って標本にした写真も掲載されている。

カレンダー製作 4 年目の今年のテーマは「スジの通った」縞模様のある魚。山口敦子氏（水産・環境科学総合研究科教授）によるユニークな解説も読みごたえがある。

今年は卓上版（1 月始まり、4 月始まり）のほかこれまでで最大の B3 版壁掛けカレンダー、合わせて 1500 部を製作し、販売した。

【福岡教育大学】

オープンライブラリーの実施

8 月 16 日から 8 月 31 日の期間、宗像市在住もしくは市内の中学校・高等学校に通学する中学生・高校生を対象として、オープンライブラリーを実施した。

対象者に提供するサービスは、貸出等の一部を除けば所属学生とほぼ同等の内容とし、実際に場としての大学図書館を体験し、大学における学習環境をよりイメージできるようにした。

本学への進学を希望する高校生のほか、市内の公共図書館が学習スペースとしての利用を禁止しているためか、単純な学習のため利用する参加者も多く見られた。

JAL スカラシッププログラムにおける図書館見学

令和5年7月2日に公益財団法人JAL財団から、インドネシアをはじめとするアジア・オセアニア圏の計 13 の国や地域から大学生 19 名が本学に訪問し、JAL スカラシッププログラムが開催された。

キャンパスツアーの一環として図書館の見学も

実施され、館内設備や、江戸時代の教科書である往来物、戦前戦後の教科書を熱心に閲覧する様子が見られた。

宗像市電子図書館体験会の開催

本学図書館と相互貸借協定を結んでいる宗像市民図書館との間では、毎週一回相互に貸借本を配送し、希望する利用者に貸出を行う連携事業を実施している。今回初めて、宗像市民図書館職員を講師として、同市が提供する「宗像市電子図書館」の体験会を本学図書館のラーニングコモンズにて開催したところ、学生のほか、教員や職員の参加もあり、参加者は電子図書を検索し、実際に借用を行うなどして楽しんでいた。

【宮崎大学】

展示ブース「takara-baco」完成

本館正面入口の展示ブースを改修し、完成を記念して6月1日～15日に「弥勒祐徳氏寄贈絵画展」を開催した。

今回完成した展示ブースは「takara-baco」と命名された。温湿度管理と照明光度管理が可能で施錠ができる展示ケースを兼ね備えており、貴重図書や美術小作品等の展示にも対応可能となった。

「takara-baco」完成を記念して 6 月 1 日～15 日に「弥勒祐徳氏寄贈絵画展」を開催した。西都市出身の画家である弥勒祐徳（みろく すけのり）氏より本学に寄贈いただいた旧宮崎大学教育学部棟（船塚キャンパス）を描いた絵画を展示した。

また、6 月 1 日に、弥勒猛氏（弥勒祐徳氏のご子息）らをお招きして、記念式典を挙行した。

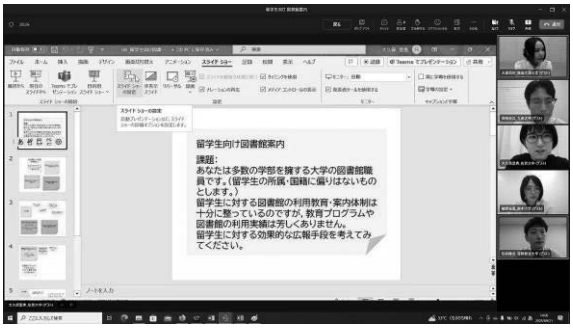
宮崎県立図書館巡回展「中近世の日向国」

7 月 24 日～8 月 18 日に、宮崎県立図書館の巡回展「中近世の日向国」を開催した。日向国中世・

近世における宮崎平野部の支配者層の変遷や、江戸時代の延岡藩・高鍋藩・佐土原藩・飫肥藩の歴史及び幕末期の諸藩の動向についてパネルで紹介した。

第 10 回 中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナーを開催

国立大学図書館協会地区助成事業として、9 月 21 日に第 10 回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナーを開催した。本セミナーは、図書館職員として採用された職員が、職員としての第一歩を踏み出すにあたって必要な図書館業務の知識を修得することを



目的とする。

今回は Teams によるオンライン開催で、大学図書館採用 3 年以内の図書館職員 52 名が参加した。九州地区国立大学の図書館職員が講師およびファシリテーターを務めた。

前半は図書館サービス・目録・オープンサイエンス・学習支援の各テーマで講義を行った。後半は「大学図書館の広報について」をテーマにグループワークを行った。

参加者からは「他館の職員と意見交換ができ貴重な体験だった」等の感想が寄せられた。図書館職員としての知識を習得するだけでなく、グループワーク等を通じて大学図書館職員の人的ネットワークを形成する機会となり、有意義なセミナーとなった。

【琉球大学】

出張ミニ展示会「お出かけ貴重書、久米島へ行く！」を開催

当館では、「誰でも」「どこからでも」本学の文化資源を享受し、地域の歴史・文化を学修できる環境づくりに取り組んでいます。デジタルコンテンツや機動性のある什器を導入し、これまで以上に緊密な地域連携を実現するため、2023 年 2 月 19 日(日)に久米島博物館において出張展示会を開催しました。

「お出かけ貴重書、久米島へ行く！」と題し、当館が所蔵する久米島の祭祀儀礼や歴史に関する貴重な古文書 3 点を展示しました。当日は職員によるギャラリートークを行い、その様子は、当館公式 YouTube チャンネルにて配信しています。この他にも久米島の歴史や文化・工芸技術等を独自取材した映像コンテンツを公開中です。

このほか、南城市との連携によるミニ企画展の開催(11 月)やコラボ動画（【なんじょうデジタルアーカイブコラボ企画】聞得大君の就任儀礼「御新下」を歩いてみた！　首里城から斎場御嶽まで約 20 ㎞の旅）の公開、久米島における本学卒業生との座談会「おでかけ貴重書（古写真)、久米島へ行く！～琉大 OBOG 座談会編～」(12 月）といった企画を展開しています。今後も県内各地の自治体との連携により事業を継続する予定です。

琉球大学附属図書館・琉球大学博物館(風樹館)、令和5年度の合同企画展を開催

当館及び博物館（風樹館）は、毎年本学所蔵資料を地域貢献の一環として公開する企画展を開催しています。2023 年は、「恩納村の海と暮らし」と題し、本学考古学研究室の展示協力を得ながら、恩納村教育委員会・恩納村博物館と共催で同村博物館にて10月7日から10月29日の日程で開催しました。

本展では「海と暮らし」を主題に、「恩納村の海から」「恩納村へ海から」「恩納村の暮らしと自然」という各テーマを設定、それぞれに本学所蔵資料の中から実物標本(土器遺物、動物標本など)・貴重書ほかを出展しました。特に当館からは、海図や冊封使の書、ペリー提督に関する石版画など、これまで館外出展を行っていない貴重な資料を展示しました。

また、本学考古学研究室所蔵資料や共催機関からの展示品（出土遺物、扁額など)、博物館(風樹館)よりサンゴなどの実物資料数点と動物や昆虫の写真を展示しました。さらに、関連イベントとして2回の講演会を開催しました。

期間中は 1,001 名の見学者が訪れ、NHK などのメディアでも紹介されました。見学者からは「恩納村にペリーが来たことを初めて知った」「自然と生活のつながりが見える企画だった」ほか多数の好意的な感想が寄せられました。

新入生歓迎企画展「あなたを支える図書館の使い方」を開催

2023年4月から5月にかけ、本学に入学してくる新1年生を主な対象として、大学生活を送る上で役立つ資料や、大学図書館の基本的な機能・利用方法を分かりやすく紹介する企画展「あなたを支える図書館の使い方」を開催しました。

今回は、より新入生の目線に立った企画展の実現のため、図書館内の課・係の枠を超えて館内若手職員によるチームを結成しました。

館内外で掲示したポスターや企画展のロゴは、Adobe Illustrator と Adobe PremierePro が得意なメンバーからノウハウを共有してもらい作成しました。新入生向けの図書館案内動画やデザイン性の高いポスター、ロゴの作成をとおしてスキルの習得につながりました。

また、二次試験前（1 月中旬頃）から当館公式 SNS への投稿を開始しました。SNS への投稿の際は、ハッシュタグの活用や使用写真の撮り方・投稿方法を工夫しました。投稿内容についても、企画展開始直前までは受験生や新入生へのメッセージを中心に投稿を行い、図書館 SNS に親しみを感じてもらえるようにしました。

これらの本企画展準備の様子については、10 月に開催された第 25 回図書館総合展のポスターセッションでテーマとして取り上げ、工夫した点等を紹介しました。

SNS 投稿方法の工夫例（Instagram のグリッド投稿）

GakuNinRDM 利用開始・FD を開催

2023 年 1 月、研究データ管理システム「GakuNin RDM」の全学的な利用を開始しました。また、同年 2 月には、当該システムの提供元である国立情報学研究所より講師を招き、FD「研究データ管理システム GakuNin RDM の使い方・研究者にとっての

メリット」をオンラインで開催しました。

FD では、GakuNin RDM の基本的な利用方法や研究者にとってのメリットについて、デモを交えながら紹介いただきました。当日は 70 人の教職員が参加し、活発な意見が飛び交い、今後の本学における GakuNin RDM の利活用に向け、有意義な研修となりました。

キャリア Lab（キャリア教育関係図書コーナー）新規設置について

キャリア教育センターとの協働により、学生の就職・資格取得に関する図書のための新たなコーナーを附属図書館本館 1 階多目的ホールに設置しました。

4 月からコーナーの設置を開始し、6 月にはキャリア教育センターによる公募で「キャリア Lab」という名称が決定して、正式にスタートを切っています。

今までキャリア教育センターに置かれていた就職・資格試験関係の図書を移設し、図書館資料として貸し出すことができるようになりました。

また、新規に購入してコーナーの充実も図っています。

今後もキャリア教育センターと協力して、就職・資格試験取得に役立つコーナーを目指していきます。

「キャリア Lab」ポスター

琉球大学出版会を設置

7 月、琉球大学は研究成果としての学術書、教育資源としての教科書を刊行することにより、本学の研究・教育・学修に寄与すること、また、研究成果普及のための教養書を刊行することにより、本学の学術成果を広く社会に還元することを目的として、琉球大学出版会を設置しました。

出版会の庶務は図書館が担当し、学術的な価値が認められるにも関わらず販売見込等の理由で刊行に至らない、既存の刊行物に本学の授業内容に適合したものがないといった状況解消への寄与を目指します。

さらに、本学におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）への取組である「琉大トランスフォーメーション（RX）」の一環として、教科書のデジタル化、さらにはデジタル化された教科書を利用した教育の DX の支援なども視野に入れた活動を目指します。

琉球大学の歴史資料の移管について

2023 年 10 月 1 日付けで、本学の歴史に関する資料群（大学史資料）が総務部より当館に移管されました。

琉球大学は 1950 年、現在の首里城跡地に開学しました。琉球列島米国民政府（USCAR）の管理下に置かれた「布令大学」の時代から琉球政府立大学（1966 年 7 月～）の時代を経て、1972 年の沖縄県の「日本復帰」に伴い、国立大学となりました。本資料群は、このような他県を見ても類例のない特異な歴史を持つ本学の沿革を知る資料です。

当館ではこれまでも企画展等において本学の歴史資料を活用してきましたが、今後は整理作業を経たものを順次公開しながらさらに積極的に活用・公開していく予定です。

図 書 館 活 動 報 告

福岡県・佐賀県図書館協議会

【令和４年度総会（書面会議）】

日　時：令和５年５月31日（水）～6月14日（水）
当番館：福岡教育大学図書館
投票会員：38館
協議事項
（1）令和４年度決算報告および監査報告
（2）令和５年度事業計画および予算案審議
（3）次期理事館および監事館の選出
（4）福岡県図書館協会理事の選出
地区研究会報告
（1）北部地区
　九州歯科大学附属図書館
（2）福岡地区
　福岡女子大学附属図書館
（3）南部地区
　久留米工業高等専門学校図書館，
　国際医療福祉大学大川キャンパス図書館
承合事項
（1）電子書籍の図書館システム等への登録について
（2）新型コロナウイルス感染症の５類感染症移行後の対応について

福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会

【令和４年度　第２回研究会・総会】

日　時：令和５年２月７日(火)13：30～16：00
会　場：国際医療福祉大学大川キャンパス
　図書館　視聴覚室（Zoom開催）
出席者：12館21名
当番館：国際医療福祉大学大川キャンパス図書館
議　事
（1）研究テーマ
①コロナ禍の図書館における感染対策の引締めと緩和について
（提出館：国際医療福祉大学
　大川キャンパス図書館）
（2）協議事項
①令和５年度研究テーマについて
「コロナ禍によって変化する図書館運営について」
（提出館：聖マリア学院大学図書館）
（3）承合事項
①「コロナ禍」におけるレファレンスサービスについて
（提出館：九州大谷短期大学図書館）
②図書館配架図書の選書基準について
（提出館：佐賀大学附属図書館）
③洋雑誌の値上がり対策について
（提出館：国際医療福祉大学
　大川キャンパス図書館）
（4）講演
演題：「臨床検査と新型コロナウイルス感染症～医療情報は玉石混交？～」
講師：国際医療福祉大学　医学検査学科
　教授　佐藤　謙一 氏
（5）令和４年度南部地区研究会のまとめについて
（6）総会
①令和４年度決算について
②令和５年度予算（案）について

③令和 5 年度幹事館及び当番館の
選出について
④令和 5 年度福岡県・佐賀県大学図書館
協議会理事館・幹事館の選出について

【令和 5 年度　第 1 回研究会】

日　時：令和 5 年 11 月 20 日(月)13：30～16：30
会　場：西九州大学佐賀キャンパス
5 号館 4 階大会議室
出席者：11 館 15 名
当番館：西九州大学短期大学部附属図書館
議　事
(1) 研究テーマ
①コロナ禍によって変化する図書館運営
について
(提出館：聖マリア学院大学図書館)
(2) 承合事項
①図書購入での電子決済について
(提出館：西九州大学短期大学部
附属図書館)
(3) 講演
演題：「右脳を刺激し感性や自尊感情を
高めるクリニカル・アート(臨床美術)」
講師：西九州大学短期大学部
幼児保育学科　教授　牛丸　和人 氏
(4) 次期当番館の確認

令和 3 年度 福岡県・佐賀県大学図書館協議会
北部地区研究会（書面会議）議事録

開 催 日：令和 4 年 3 月 30 日（水）
方　　法：書面会議
回答方法：回答票をメールにて受付
回 答 館：14 館
・九州工業大学附属図書館　・北九州市立大学図書館　・九州歯科大学附属図書館　・近畿大学産業理工学部図書館　・九州共立大学附属図書館　・九州国際大学図書館　・九州女子大学・九州女子短期大学附属図書館　・産業医科大学図書館　・西日本工業大学図書館　・福岡県立大学附属図書館　・折尾愛真短期大学図書館　・西南女学院大学図書館　・九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学図書館　・北九州工業高等専門学校図書館
当 番 館：西南女学院大学図書館、九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学図書館

1．議事等
(1)令和 2 年度決算報告及び監査報告
原案のとおり、承認された。
(2)令和 3 年度予算(案)
原案のとおり、承認された。
(3)協議事項
①当番館制の見直し（2 館から 1 館）について[提出館：産業医科大学]
令和 2 年度研究会からの継続協議となっていた当番館制の見直しについて、令和 4 年度北部地区研究会からは当番館を現在の 2 館から 1 館とすることが承認された。
(4)承合事項
なし
2．確認事項
①令和 4 年度当番館の確認について
令和 2 年度研究会で令和 4 年度当番館として 2 館が選出されていたが、協議事項①の協議において令和 4 年度から当番館が 1 館となったため、昨年度

選出された両館に確認し了承を得た。

・当番館：九州歯科大学

②令和5年度当番館の選出について

令和 4 年度当番館予定であった九州共立大学が選出され承認された。

・当番館：九州共立大学

以　上

令和4年度 福岡県・佐賀県大学図書館協議会
北部地区研究会（書面会議）議事概要

1．開 催 日　令和5年3月20日（月）

2．方　　法　書面会議

3．回答方法　回答票をメールにて受付

4．回 答 館　14館（回答結果別紙）

・九州工業大学附属図書館　・北九州市立大学図書館　・近畿大学産業理工学部図書館　・九州共立大学附属図書館　・九州国際大学図書館　・九州女子大学・九州女子短期大学附属図書館　・産業医科大学図書館　・西日本工業大学図書館　・福岡県立大学附属図書館　・折尾愛真短期大学図書館　・西南女学院大学図書館　・九州栄養福祉大学

・東筑紫短期大学図書館　・北九州工業高等専門学校図書館　・九州歯科大学附属図書館

5．当番館：九州歯科大学

6．議事等

(1)令和3年度決算報告及び監査報告

原案（資料1）のとおり、承認された。

(2)令和4年度予算(案)

原案（資料2）のとおり、承認された。

(3)協議事項

①福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会内規の改正について

［提出館：西南女学院大学］

資料3のとおり、承認された。

7．確認事項

当番館ローテーション表について

変更なしで承認された。

よって、資料4のとおり令和5年度の当番館、令和6年度の当番館は下記のとおりとなる。

①令和5年度当番館：九州共立大学

②令和6年度当番館：九州工業大学

2023（令和5）年度　福岡県・佐賀県大学図書館協議会
福岡地区研究会

日　時：2023（令和5）年11月30日(木)13：30～16：05

会　場：　オンライン開催（九州産業大学）

出席者：　12館　23名

当番館：　九州産業大学図書館

西南学院大学図書館

テーマ：「ポストコロナ時代の大学図書館」

1．講演

演　題:「誰もが利用しやすい図書館を目指して～ポストコロナ時代に求められる図書館サービスとは～」

講演者:

丸善雄松堂株式会社 アカデミック・プロセス・ソリューション事業部九州センター長

佐久川　卓　氏
丸善雄松堂株式会社 学術情報ソリューション事業部九州支店九州営業部営業グループ長兼 ICT 担当　　江口　拓宏　氏

2.協議事項
なし

3.承合事項
(1) レファレンス実績の集積とその運用について （提案大学：福岡大学）
(2) 入退館管理の現状について
（提案大学：福岡大学）
(3) 来館型・非来館型（電子資料）各種サービスの利用状況について（提案大学:九州産業大学）
(4)機関リポジトリの登録・運用管理状況について（提案大学：西南学院大学）

4．その他
2024（令和 6）年度福岡地区研究会当番大学の紹介

佐賀県大学図書館協議会

令和５年度　佐賀県大学図書館協議会総会
日　時：令和 5 年 8 月 30 日（水）
場　所：西九州大学・西九州大学短期大学部附属図書館(佐賀キャンパス)
参加館：5 館
議　事
1．協議事項
(1) 令和４年度決算報告について
(2) 佐賀県大学図書館協議会会費の取り扱いについて
(3) 令和 5 年度予算（案）について
(4) 佐賀県内物流システムの利用について
(5) 令和 6 年度幹事館および監査館の選出について
(6) その他

2．報告事項
(1) 各大学図書館の活動状況について
(2) 読書推進協議会報告
(3) その他

3.承合事項
(1) 各館における光熱水費の節減対策について
(2) 各館における新型コロナウイルス感染症対策の現状について

4.その他
(1) 総会資料の保管について

長崎県大学図書館協議会

1．　令和 5 年度総会（書面会議）
日　時：令和 5 年 8 月 8 日（火）13：30～15：30
会　場：オンライン開催（Zoom）
出席者：11 館
オブザーバー：長崎県立長崎図書館
議　題
(1) 令和 6 年度全国図書館大会長崎大会について
(2) 令和４年度事業報告・決算報告・監査報告について
(3) 令和５年度・６年度の役員館等の選出について

(4) 令和５年度事業計画（案）及び予算（案）について

報告事項

(1) 各館の当面する諸問題について

(2) その他

２．研修事業

令和 4 年度長崎県大学図書館協議会実務研修会

日　時：令和 5 年 3 月 23 日（木）14 時～16 時

会　場：オンライン開催（Zoom）

内　容：情報交換会

テーマ：「アフターコロナに向けた図書館サービスと利用促進策を中心に」

参加者：21 名（11 校）

長崎県公共図書館等協議会との合同研修会

日　時：令和 5 年 10 月 16 日（月）10 時 20 分～12 時

会　場：ミライ on 図書館、WEB 参加可

テーマ：「レファレンスのコツ」

講　師：小林昌樹氏（元国立国会図書職員　慶應義塾大学文学部講師）

３．Library Lovers' Nagasaki 2023

期間：令和 5 年 10 月 23 日（月）～11 月 30 日（木）

参加校：12 校

テーマ：「図書館がもっと好きになる！」

合同企画：図書館員おすすめの本を掲載した「オリジナル栞」プレゼント

各館独自企画：11 校 13 館で実施

ワーキンググループ：参加 7 校 8 名。オリジナルグッズ製作、ポスター作成、ブログ運営を実施

http://libraryloversnagasaki.blog.jp/

４．令和 6 年度全国図書館大会長崎大会準備

9 月 27 日（水）全国図書館大会長崎大会準備委員会参加

11 月 16 日（木）～11 月 17 日（金）　全国図書館大会 2023 岩手大会へ協議会会長･加盟館職員参加による情報収集

12 月 19 日（火）全国図書館大会岩手大会報告会（オンライン）

熊本県大学図書館協議会活動報告

1.　令和 5(2023)年度総会

日　時：令和 5(2023)年 6 月 14 日（水）

会　場：熊本学園大学

当番館：熊本学園大学付属図書館

出席者：12 館（11 校）26 名

審議事項：

(1) 令和 4(2022)年度総会議事報告書の確認

(2) 令和 4(2022)年度事業報告について

(3) 令和 4(2022)年度収支決算並びに監査報告について

(4) 令和 5(2023)年度事業計画（案）及び予算（案）について

(5) 次年度世話館について

照会事項：

(1) 極東書店 KPESS（電子書籍検索・発注システム）の導入状況について

(2) ラーニングコモンズの利用状況について

(3) デジタル教科書（電子教科書）の導入・運用について

(4) 電子図書の購入について

その他：

以下の内容で意見交換会を実施

(1) 今年度研修会の実施内容・形態について

(2) 学外利用者向けカード発行の対象（主に他大学生）について

(3) 迷惑行為を行なう学外利用者の対応について

(4) 教員の文献複写に関する予算等について
(5) 学生のアルバイト以外での図書館活動（サークル、ボランティア等）について

2. 研修会

日　時：令和5(2023)年9月19日（火）
会　場：熊本学園大学（講演会はzoomにて配信）
出席者：12館20名（オンライン参加含む）
内　容：
●講演会
演題：「はじめよう、AI生活」
講師：藤本賢志氏（株式会社ナレッジコミュニケーション）
●意見交換会
講演後、意見交換会を実施

大分県大学図書館協議会

１．令和４年度研修会

日　時：令和5年2月20日（月）
会　場：オンライン
演　題：大学図書館は大学の一部-「卒業論文制作実習演習」から考える
講　師：遠山 潤　氏（久留米大学）

２.令和５年度総会

日　時：令和5年9月11日（月）
～9月15日（金）
当番館：別府溝部学園短期大学図書館
会　場：書面回議
出席館：9館
講義事項：
(1) 令和4度事業報告について
(2) 令和4年度決算報告（案）及び監査報告（案）について
(3) 令和5年度事業計画（案）について
(4) 令和5年度予算（案）について
(5) 令和6年度役員館（案）及び当番館（案）について
(6) 令和6年度及び7年度における会費の一時的な徴収停止について

宮崎県大学図書館協議会

1.令和5年度　宮崎県大学図書館協議会総会

日　時：令和5年9月11日（月）～15日(金)
形　態：書面会議
出席者：9館（オブザーバー館1館含む）
議　題：
報告事項
(1)令和4年度決算報告及び監査報告
(2)令和5年度事業計画及び予算について
協議事項
(1)令和6年度以降の宮崎県大学図書館協議会の当番館および監事館ローテーションについて
承合事項
(1)コロナ禍による入館者数および貸出数への影響について
(2)電子ジャーナルやデータベースの利用促進について
(3)視聴覚席および視聴覚資料について
(4)読書バリアフリーへの取り組みについて
(5)新聞およびデータベースの契約状況について
確認事項
(1)次年度当番館・監事館ローテーションについて

2.令和5年度　宮崎県大学図書館協議会研修会

日　時：令和5年11月2日（木）13:30～16:30

会　場：宮崎大学
内　容：(1) 講演
「展示の技法を学ぶ」―博物館展示論の視点から―」
講師 石川千佳子 氏
（宮崎大学附属図書館長）
(2) 展示ブース「takara-baco」等見学
(3) 農業博物館見学

鹿児島県大学図書館協議会活動報告

【第 44 回鹿児島県大学図書館協議会総会（書面会議）】

日　時：令和 5 年 8 月 30 日（水）～9 月 11 日（月）
当番館：鹿屋体育大学
出席者：13 館（オブザーバー館 2 館含む）
議　事
報告事項
１．役員館について
２．会費について

審議事項
１．令和４年度会務報告
２．令和４年度決算報告及び監査報告
３．令和５年度事業計画
(1) 研修委員会活動計画について
(2) 広報委員会活動計画について
４．令和５年度予算（案）について

承合事項
１．離職する教員が管理する研究図書について

【研修会】

日　時：令和 5 年 12 月 19 日(火)13：05～13：50
会　場：Web 開催
事例紹介
テーマ：「学生と協働した図書館づくりの事例」
事例紹介者：福永 夕紀 氏
（鹿児島大学附属図書館桜ヶ丘分館）
豊永 未優 氏
（図書館サポーター:鹿児島大学法文学部）

【講演会】

日　時：令和 5 年 12 月 19 日(火)14：00～16：10
会　場：Web 開催
テーマ：「地域密着型の図書館づくり
～立正大学図書館を事例として～」
講　師：島田　貴司 氏
（NPO 法人 大学図書館支機構（IAAL）理事
立正大学熊谷図書館）

沖縄県大学図書館協議会

1.【2023 年度（第 51 回）総会及び講演会】
日　時：2023 年 9 月 22 日（金）
場　所：沖縄キリスト教学院大学
当番館：沖縄国際大学図書館
出席者：9 館 26 名
審議事項
(1) 2022 年度事業報告
(2) 2022 年度決算報告
(3) 2022 年度監査報告
(4) 2023 年度事業計画（案）
(5) 2023 年度予算（案）
(6) 2024 年度及び 2025 年度の当番館、監査館、幹事館、沖縄県図書館協会理事推薦館の選出

講　演
　演題：リベラルアーツとしての読書のアニマシオン
講師：上原 明子 氏（沖縄キリスト教学院図書館長）

令和５年度九州地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議

日　時：令和５年 12 月 11 日(月) 13:15～14:30
場　所：九州大学附属図書館　中央図書館
　４階会議室及び Microsoft Teams
出席者：11 大学　21 名
議　事：
・報　告
　１．令和５年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議について
　２．令和５年度九州地区国立大学法人等職員採用図書系専門試験の実施状況について
　３．令和５年度研修事業報告（第 10 回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー)
・協議題
　１．フレッシュ・パーソン・セミナーの課題について

令和５年度九州地区国立大学附属図書館館長懇談会

日　時：令和５年 12 月 11 日（月）13:15～14:45
場　所：九州大学附属図書館　中央図書館
　４階会議室及び Microsoft Teams
出席者：９大学９名
テーマ：
　１．図書館が直面している課題について：電子ジャーナル・転換契約、OA 義務化、研究データ、図書館運営費の確保等
　２．その他

令和５年度九州地区国立大学附属図書館館長・事務（部・課）長会議

日　時：令和５年 12 月 11 日（月）15:15～16:30
場　所：九州大学附属図書館　中央図書館
　４階会議室及び Microsoft Teams
出席者：11 大学　27 名
議　事：
・報　告
　１．館長懇談会報告
　２．事務（部・課）長会議報告
　３．令和５年度国立大学図書館協会秋季理事会報告
　４．令和６年度九州地区大学図書館協議会総会の開催方法について
・協議題
　１．令和６年度九州地区国立大学図書館協会総会当番校及び九州地区大学図書館協議会役員館の選出について
　２．令和６年度九州地区国立大学図書館協会総会当番校及び秋の会議の開催方法について
・意見交換・情報共有
　会議終了後、中央図書館館内見学ツアーを実施した。

私立大学図書館協会西地区部会　九州地区協議会

【2023（令和 5）年度 九州地区協議会】

日　時：2023（令和5）年5月8日（月）～12日（金）

場　所：メール会議

当番館：活水女子大学図書館

出席者：47 校

報告事項

（1）九州地区協議会関係

①2022年度九州地区協議会及び決算報告

②第1回定例幹事会報告

③2022年度九州地区研究会及び決算報告

④研究会準備委員会報告

⑤第2回定例幹事会報告

（2）九州地区大学図書館協議会関係

①九州地区大学図書館協議会総会

（3）西地区部会関係

①2023年度西地区部会事業計画（案）および予算（案）について

②2023年度予算の暫定執行について

③2023年度西地区部会総会開催概要（案）について

④2023年度西地区部会研究会開催概要（案）について

④-1 2023・2024年度西地区部会役員校について

④-2 2023・2024年度西地区部会当番校について

④-3 2023年度西地区部会関連行事日程について

（4）私立大学図書館協会関係

①2022年度協会役員校、委員会委員および協会関連団体委員

②2023年度行事・会議予定

③第83回（2022年度）総会・研究大会の報告について

④第84回（2023年度）総会・研究大会（案）について

⑤2022年度協会賞について

⑥2023年度研究助成（2022年度申請）について

⑦加盟校について

⑧懇談事項について

協議事項

（1）九州地区協議会関係

①2023年度九州地区協議会研究会につい

②2025・2026 年度以降の九州地区協議会理事校の推薦について

③九州地区協議会役員校等ローテーション表について

④2023年度九州地区協議会年会費について

⑤聖マリア学院大学図書館の退会について

⑥九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学図書館の異動について

（2）九州地区大学図書館協議会関係

①2023年度九州地区大学図書館協議会の役員校について

承合事項

（1）選書ツアーの開催書店について（第一薬科大学）

確認事項

（1）九州地区協議会メーリングリストについて

（2）九州地区協議会年度別幹事校

（3）本会関係行事・会議等スケジュール

その他

（1）2023 年度の当番校・幹事校・役員校等の紹介

【2023（令和 5）年度 九州地区研究会】

日　時：2023年9月6日（水）10:30～16:30

会　場：沖縄科学技術大学院大学
メインキャンパスカンファレンスミーティングルーム

テーマ：『持続可能な図書館～SDGｓ実現のために図書館ができること～』

出席者：17館28名

幹事校：沖縄科学技術大学院大学図書館

講演

演　題：『恩納村「サンゴの村」創り!! ～持続可能な発展のために～』

講　師：恩納村農業推進課 桐野 龍 氏

事例発表

(1)「大学と連携した SDGｓ～図書館を情報発信の場に～」
長崎総合科学大学図書館 上川 ひろみ 氏

(2)「図書館システムのクラウド化から見えたもの」
西日本工業大学図書館 学務課長
宇佐 圭司 氏
西日本工業大学図書館 学務課主査
中田 輝美 氏

(3)「学生ウェルビーイングに貢献する図書館の施設設備」
福岡工業大学附属図書館 事務長
藤原 昭二 氏

(4)「SDGｓの視点から考える図書館運用」
沖縄科学技術大学院大学図書館 マネージャー 上原 藤子 氏

意見交換会

日　時：2023年9月6日（水）17:00～18:30

会　場：沖縄科学技術大学院大学
メインキャンパスカンファレンスセンター

出席者：23名

事 務 局 報 告

令和５年度九州地区大学図書館協議会
幹事館・副幹事館会議

令和５年１２月４日（月）に書面回議により開催の結果、「第 74 回九州地区大学図書館協議会総会記録（案）」について承認された。

その他について、意見等はなかった。

議題

１．第７４回九州地区大学図書館協議会総会記録（案）について

今年度当番館 佐賀大学附属図書館から資料１のとおり第７４回九州地区大学図書館協議会総会記録(案)の提出がありましたので、内容をご確認ください。

２．その他

① 九州地区大学図書館協議会総会における協議事項等について

ご意見等がおありでしたらお知らせください。なお、協議事項等は別途第７５回総会当番館（鹿児島大学附属図書館）から照会します。

② 副議長について

総会における副議長は、平成 11 年度からの副幹事館制度の発足により、副幹事館の図書館長により以下の順番で執り行われております。なお、昨年度に引き続き令和 6 年度につきましては、オンライン会議若しくは書面回議を予定していることから、副議長は選出しないことといたします。

＜参考＞

平成 11 年度（公立大学部会副幹事館長）
福岡女子大学

平成 12 年度（私立大学部会副幹事館長）
鹿児島国際大学

平成 13 年度（私立短大部会副幹事館長）
沖縄キリスト教短期大学

平成 14 年度（国立大学部会副幹事館長）
福岡教育大学

平成 15 年度（公立大学部会副幹事館長）
宮崎公立大学

平成 16 年度（私立大学部会副幹事館長）
筑紫女学園大学・短期大学

平成 17 年度（私立大学部会副幹事館長）
九州東海大学

平成 18 年度（国立大学部会副幹事館長）
長崎大学

平成 19 年度（国立大学部会副幹事館長）
熊本大学

平成 20 年度（公立大学部会副幹事館長）
宮崎県立看護大学

平成 21 年度（私立大学部会副幹事館長）
九州産業大学

平成 22 年度（国立大学部会副幹事館長）
大分大学

平成 23 年度（私立大学部会副幹事館長）
熊本学園大学

平成 24 年度（公立大学部会副幹事館長）
長崎県立大学

平成 25 年度（私立大学部会副幹事館長）
久留米大学

平成 26 年度（公立大学部会副幹事館長）
鹿児島県立短期大学

平成 27 年度（私立大学部会副幹事館長）
沖縄国際大学
平成 28 年度（私立短大部会副幹事館長）
鹿児島純心女子短期大学
平成 29 年度（公立大学部会副幹事館長）
九州歯科大学
平成 30 年度（私立大学部会副幹事館長）
九州国際大学
平成 31（令和元）年度
（公立大学部会副幹事館長）
宮崎公立大学
令和２年度（私立大学部会副幹事館長）
福岡工業大学
令和３年度（コロナの影響により書面回議のため選出しない）
令和４年度（コロナの影響により書面回議のため選出しない）
令和５年度（オンライン会議若しくは書面回議のため選出しない）

③　副幹事館、表彰委員館、編集委員館の交代について

副幹事館は、任期が２年間（令和５年度～令和６年度）のため選出不要です。

なお、表彰委員館、編集委員館の任期は１年間（再任は妨げない。）ですので、各部会で当番館のご検討をお願いいたします。

第74回九州地区大学図書館協議会総会記録

日　程　表

1. 開催方法を書面会議にする旨通知日　　令和５年１月２６日（木）
2. 書面回議通知日　　令和５年６月　５日（月）
3. 回答期限　　令和５年６月１６日（金）

第74回九州地区大学図書館協議総会議事要録

１．報告事項

（１）永年勤続表彰

「九州地区大学図書館協議会表彰規程」（参考）に基づき、表彰を受ける者を各大学へ照会したところ、表彰規程の第２条第１号（勤務期間２０年に達した者）１２名の推薦があり、表彰委員会による審査の結果、以下のとおり全員の表彰を決定した。

①勤務期間２０年に達した者（表彰規程第２条第１号）

（所属機関、氏名の５０音順）

	表彰の区分	所属大学名	氏　名
1	第２条第１号	九州大学附属図書館	嶋　田　　香
2	〃	九州大学附属図書館	野　原　ゆかり
3	〃	九州大学附属図書館	兵　藤　健　志
4	〃	九州大学附属図書館	松　石　健　祐
5	〃	九州大学附属図書館	渡　辺　優　子
6	〃	佐賀大学附属図書館	松　尾　知　子
7	〃	長崎大学附属図書館	水　溜　　宏
8	〃	鹿児島大学附属図書館	小　中　里　美
9	〃	鹿児島大学附属図書館	宮　里　昌　代
10	〃	九州女子大学・短期大学附属図書館	築　地　恵　子
11	〃	熊本保健科学大学附属図書館	重　　美樹子
12	〃	熊本保健科学大学附属図書館	元　田　みちる

（2）幹事館報告

資料３に基づき、本協議会の活動について報告した。

（3）部会報告（国立、公立、私立、私立短大）

資料４に基づき、各部会について報告した。

２．予算・決算

（1）令和４年度決算及び監査報告

資料６に基づき、令和４年度決算及び監査報告が了承された。

（2）令和５年度予算（案）

資料７に基づき、令和５年度予算（案）が了承された。

３．協議事項

私立短期大学部会の廃止及び九州地区大学図書館協議会会則等の改正について

【提案理由】

九州地区大学図書館協議会の各部会のうち、私立短期大学部会の会員が退会等により、部会が存続できなくなったことから、私立短期大学部会の廃止を提案したい。

私立短期大学部会の廃止に伴い、九州地区大学図書館協議会会則等の改正を実施したい。

＜協議結果＞ 会則等の改正について、提案どおり了承された。

４．承合事項

８件の承合事項について、各加盟館からの回答を資料９に基づき報告した。

５．次期役員館・当番館の選出

（1）幹事館を九州大学とすることについて了承された。

（2）幹事館以外の次期役員館と当番館について、以下のとおり了承された。

○副幹事館　国立大学部会：福岡教育大学
公立大学部会：熊本県立大学
私立大学部会：久留米大学

○監査館　中村学園大学

○表彰委員館　国立大学部会：鹿屋体育大学
公立大学部会：
大分県立芸術文化短期大学
私立大学部会：第一薬科大学

○編集委員館　国立大学部会：宮崎大学
公立大学部会：九州歯科大学
私立大学部会：九州女子大学

○次期当番館　南部地区：　鹿児島大学

令和４年度決算

一般会計

（単位：円）

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	備考	科目	予算	決算	備考
会費	468,000	468,000	@6,000円×78館	総会運営費	0	0	福岡教育大学 附属図書館
協議会誌代	116,800	116,800	第64号（令和３年）@800円×146部	協議会誌発行費	250,000	242,000	第65号（令和４年度）200部
広告掲載料	260,000	20,000	1社　第65号（令和４年度）分	事務費	35,000	32,105	会誌・請求書送料、送金手数料 （会費と請求書を分けて送付）
広告掲載料	220,000	220,000	12社 第64号（令和３年）分	積立金会計へ繰入	779,800	550,695	総会講演会謝金・研修事業補助
小計	1,064,800	824,800		小計	1,064,800	824,800	

積立金会計

（単位：円）

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	備考	科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	1,075,000	1,075,000		表彰経費	75,000	120,010	20名（1号該当6名、2号該当14名）
預金利息	11	13	8月13日：6円、2月11日：7円	研修会経費	0	0	総会講演会謝金
一般会計から繰入	779,800	550,695		研修会補助費	180,000	30,000	各県協議会（9地区）研修経費補助〔宮崎県大学図書館協議会(20,000)、大分県大学図書館協議会(10,000)〕
				次年度繰越金	1,599,811	1,475,698	
小計	1,854,811	1,625,708		小計	1,854,811	1,625,708	

令和５年３月２８日　会計監査実施済
監査館　九州産業大学図書館 事務室長
平田　明子

令和５年度予算（案）

一般会計　　（単位：円）

収　入　の　部			支　出　の　部		
科　　目	予　算	備　　考	科　　目	予　算	備　　考
会　　費	438,000	@6,000円×73館	総会運営費	0	新型コロナウィルス感染症拡大防止の為、書面回議（当番館：佐賀大学）へ変更
協議会誌代	116,800	第65号（令和４年度）@800円×146部	協議会誌発行費	250,000	第66号（令和５年度）200部
広告掲載料	250,000	15社　第66号（令和５年度）見込み分	事務費	35,000	会誌送料、送金手数料、消耗品費
広告掲載料	230,000	14社　第65号（令和４年度）未収分	積立金会計へ繰入	749,800	研修事業補助等
小　　計	1,034,800		小　　計	1,034,800	

積立金会計　　（単位：円）

収　入　の　部			支　出　の　部		
科　　目	予　算	備　　考	科　　目	予　算	備　　考
前年度繰越金	1,475,698		表彰経費	75,000	令和４年度予算額を参照
預金利息	13		研修会経費	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、謝金を伴う総会講演会の開催を中止
一般会計から繰入	749,800		研修会補助費	180,000	各県協議会研修経費補助（9地区×20,000円）
			次年度繰越金	1,970,511	
小　　計	2,225,511		小　　計	2,225,511	

九州地区大学図書館協議会会則

昭和25年11月27日施行
昭和32年 9月12日改正
昭和41年 6月 2日改正
昭和51年 4月23日改正
昭和55年 5月 9日改正
平成 9年 4月25日改正
平成10年 4月24日改正
平成20年 4月 18日改正
令和 5年 6月 22日改正

（名　　称）

第 1 条　本会は九州地区大学図書館協議会と称する。

（会　　員）

第 2 条　本会は別に定める資格を有する九州地区の大学図書館等（以下「大学図書館」という。）をもって組織する。

会員は大学等の機関をもって一会員とする。

本会に入会するには、所定の入会申込書を提出し、総会の議決を経るものとする。

（目　　的）

第 3 条　本会は会員の緊密な連絡と協力によって、大学図書館の施設、管理及び運営等の健全な進歩発達をはかり、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

（事　　業）

第 4 条　本会は前条の目的を達するためにつぎの事業を行う。

１．図書館の研究・調査に関する事項
２．研究会・講習会等の開催に関する事項
３．日本図書館協会等の連絡提携に関する事項
４．学術図書文献の調査及び総合目録の調整に関する事項
５．学術図書文献の収集、保存及び活用に関する事項
６．その他必要とする事項

（役　　員）

第 5 条　本会に幹事館、副幹事館及び監査館を置く。

幹事館は会務を総括し、本会を代表する。

副幹事館は、幹事館とともに会務を処理する。

監査館は、会計を監査する。

第 6 条　幹事館は、総会で互選し、その任期は２年とする。但し、再選を妨げない。

副幹事館は、国立大学、公立大学及び私立大学の各部会からそれぞれ１館を総会で互選し、その任期は２年とする。但し、再選を妨げない。

監査館は、総会で互選し、その任期は１年とする。但し、再選できない。

（事務所）

第 7 条　本会の事務所は幹事館内におく。

（会　　議）

第 8 条　本会は毎年１回総会を開催する。但し必要に応じ会員の３分の１以上から請求があった場合は、臨時総会を開くことができる。

第 9 条　総会の運営は、輪番に定められた当番館が幹事館と協議してこれに当たる。

第 10 条　総会は次の事項を行う。

１．事業計画

２．決算の承認

３．予算の決定

４．幹事館、副幹事館及び監査館の選任及び当番館の決定

５．その他必要なる事項の決定

第 11 条　総会の票決権は１大学等の機関につき１票とし、議決は多数決による。

可否同数の時は幹事館の決するところによる。

（会　　計）

第 12 条　本会の経費は会費その他をもってあてる。

第 13 条　会費は年額 6,000 円とし、毎会計年度始めに幹事館に納入するものとする。

第 14 条　本会の予算は毎年総会の議決を経て決定し、決算は監査を受け次の総会において承認を得なければならない。

第 15 条　本会の会計年度は４月１日に始まり、翌年３月 31 日に終る。

（会則変更）

第 16 条　本会則の変更は総会にはからなければならない。その決定には出席会員の３分の２以上の賛成を必要とする。

九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則

昭和 32 年９月 12 日決定
昭和 37 年 10 月２日改正
昭和 48 年５月 11 日改正
昭和 53 年５月 12 日改正
平成 11 年４月 23 日改正
平成 26 年４月 18 日改正

１．本協議会総会の運営は簡素を尊重し、輪番に当番を引受け易くするためにこの細則を定める。

２．総会の議長は当番館の館長とする。

３．議長は副議長を指名することができる。

４．当番館は幹事館及び副幹事館と協議の上、２ヶ月前に会員宛日程・場所等を通知し、出席者の職氏名及び協議事項・承合事項の提出を求める招請状を送ること。

但し、緊急を要する臨時総会等の場合はこの限りでない。

5．当番館は協議事項をまとめ、議題として提案理由、又は簡単な説明を付して、出席者に配付し、調査研究の余地を充分与えるように努めること。
6．当番館は総会の議事録を作成し、会員に配付するものとする。
7．幹事館及び副幹事館は当番館と協力して、総会で決議された要求事項を貫徹するよう努力する。
8．総会と同時に会員のための研修会を行うものとする。
9．会員以外の出席を許すことがある。但し票決権はない。
10．当番館は加盟館の所属県を次の三地区に分け、地区ごとに等しく持ち廻る。

福岡地区　　福岡県
中部地区　　長崎県、佐賀県、熊本県、大分県
南部地区　　鹿児島県、宮崎県、沖縄県

11．総会の経費は主として会費及び出席者から徴収する金員より支出し、総会の議決を経た予算案によって実行するものとする。
12．研修会の講師招聘に要する旅費、謝礼等の費用は、毎年会費の内から積立てて支弁する。

九州地区大学図書館協議会入会に関する細則

昭和32年 9月 1日施行
平成 9年 4月25日改正
平成20年 4月18日改正

1．本協議会へ入会を希望する大学図書館（以下「入会申込館」という。）は、最寄りの本協議会　会員の紹介書（別記様式1）により、入会申込書（別記様式2）を、総会の3ヶ月前までに幹事館に提出する。
2．紹介を依頼された会員は、総会において入会申込館の概略を説明する。
3．入会資格の基準は下記のとおりとする。
(1)　大学、短期大学又はこれに準じる教育研究機関の図書館施設であること。
(2)　本協議会の目的及び事業に賛同し、熱意が十分認められること。
4．入会申込館は、総会当日は、入会承認まではオブザーバーとして出席することができる。

別記様式１

九州地区大学図書館協議会入会紹介書

令和　　年　　月　　日

九州地区大学図書館協議会　殿

大学名

図書館名

図書館長名　　公印

下記の図書館は、本協議会の目的及び事業に賛同され、また熱意が十分認められますので、本協議会への入会を紹介します。

記

１．　学校（法人）名：

２．　大　　学　　名：

３．　図　書　館　名：

４．　図 書 館 長 名：

５．　所　　在　　地：

別記様式２

九州地区大学図書館協議会入会申込書

令和　　年　　月　　日

九州地区大学図書館協議会　殿

大学名

図書館名

図書館長名　　公印

貴協議会の趣旨に賛同し、令和　　年度からの入会を申し込みます。

記

１．　学校（法人）名：

２．　大　　学　　名：

３．　大 学 設 置 年：

４．　学　　生　　数：

５．　図　書　館　名：

６．　所　　在　　地：
（電話、FAX 番号）

７．　図 書 館 長 名：

８．　図 書 館 の 概 要：(別紙)

９．　紹　介　館　名：

別紙

図　書　館　の　概　要

図　書　館　名				
事務責任者職・氏名	（電話番号　　）			
図書館職員数	人（内、司書数　　人）			
図書館延床面積	㎡	閲覧座席数	席	
蔵　書　冊　数	冊（内　和書　　冊、洋書　　冊）			
年間受入図書冊数	冊	年間受入雑誌種数	種	
年間開館日数	日	通常開館時間　　時　　分～　　時　　分		
土　曜　開　館	1　実施　　2　未実施			
日曜祝日開館	1　実施　　2　一部実施　　3　未実施			
奉仕対象学生数	人	奉仕対象教職員数	人	
年間貸出冊数	冊			
図書館相互協力	図書貸借	1　実施　　2　未実施		
	文献複写	1　実施　　2　未実施		
学外者へのサービス	1　実施　　2　未実施			
コンピュータの導入	1　導入済　　2　未導入			
コンピュータの適用業務	1 貸出　2 図書受入　3 図書整理　4 雑誌管理　5 OPAC			
ネットワーク環境	1　学内 LAN 接続済　　2　インターネット接続済			
国立情報学研究所との接続	1 接続（1 NACSIS-CAT/ILL　2 NACSIS-IR　3 その他）　2　未接続			

九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規

平成２年４月 20 日施行
平成５年４月 23 日改正
平成 11 年４月 23 日改正
令和５年６月 22 日改正

１．(1) 本協議会誌は、総会記事のほか各部会報告、ニュース等を掲載し、九州地区大学図書館間の情報誌としての機能を果すこととする。
(2) 本協議会誌編集のために編集委員会を設ける。
２．(1) 編集委員会は、国立、公立及び私立の各部会からの推薦により選出された編集委員館で構成する。
(2) 幹事館及び総会当番館は、業務上の必要から編集委員館として参加することとし、上記２－(1)の編集委員館を兼ねることができる。
(3) 各部会の編集委員館は、幹事館の近隣地区から選出されることが望ましい。
(4) 編集委員館の任期は１年とし再任を妨げない。
３．(1) 編集委員館は、それぞれの所属する各部会の記事の提出を担当する。
(2) 総会当番館は、総会記事を担当する。
(3) 幹事館は、編集に関する事務を担当する。
４．　本協議会誌発行のため、印刷代、送料、編集会議費、原稿執筆等謝礼は、毎年会費の内から支弁する。
５．　本協議会誌に掲載された論文・記事は、九州地区大学図書館協議会ホームページに掲載することとする。

九州地区大学図書館協議会表彰規程

（目　　的）
第１条　この規程は、九州地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に加盟の大学図書　館職員を表彰するため、必要な事項を定めることを目的とする。
（表彰を受ける者）
第２条　表彰は、次の各号の１に該当し、かつ勤務成績が良好である者について行う。
(1) 勤務期間２０年に達した者
(2) 図書館学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者
（表彰状の授与）
第３条　表彰は、協議会が別紙様式による表彰状を授与することによって行う。
２　第２条に該当する者については、前項の表彰状にあわせて記念品を贈呈することができる。
（被表彰者の選考）
第４条　表彰をうける者は、所属図書館長の推薦（別紙様式による）に基づき、表彰委員会が選考し、協議会の総会の承認を経て決定する。
（表彰委員会）

第５条　表彰委員会は、国立、公立及び私立の各部会からの推薦により選出された表彰委員館各１館で構成し、任期は１年として再任を妨げない。

（表彰の日）

第６条　表彰は、協議会の総会において行う。

（勤務期間の計算）

第７条　第２条第１号の勤務期間は、国公私立大学図書館およびその他の図書館等に在職した期間とし、１０年以上を加盟の大学図書館等に勤務したものでなければならない。

２　次の各号に掲げる期間は、勤務期間から除算する。

(1)　休職の期間（公傷病の期間は除く）

(2)　懲戒処分により停職された期間

（雑　　則）

第８条　この規程に定めるもののほか、表彰の実施に関する必要な事項は、別に定める。

附　則

この規程は、昭和 42 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

この規程は、昭和 55 年 5 月 9 日から施行する。

附　則

この規程は、平成 9 年 4 月 25 日から施行する。

附　則

この規程は、平成 11 年 4 月 23 日から施行する。

附　則

この規程は、平成 20 年 4 月 18 日から施行する。

附　則

この規程は、令和 5 年 6 月 22 日から施行し、令和５年４月１日から適用する。

文書番号
令和　　年　　月　　日

九州地区大学図書館協議会幹事館
　○○大学附属図書館長　　殿

○○大学（附属）図書館長
○　○　○　○

令和　　年度表彰者の推薦について

下記の者を本年度の総会における被表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。
なお、別紙のとおり表彰者調書を提出します。

表 彰 者 調 書

○○大学（附属）図書館

職名		ふりがな 氏名		生年月日	年　月　日
表彰の区分	第２条第１号　　第２条第２号　　（○を付してください。）				
勤務成績					
第７条第２項第２号該当の有無	有　・　無　　（○を付してください。）				

履　歴　事　項

年　月　日	勤務内容等	勤務期間	
		加盟館での勤務期間	その他の図書館での勤務期間
～		年　月　日	年　月　日
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			
計		年　月　日	年　月　日

合計　　年　　月　　日

注　(1) 勤務期間の計算は暦日数によるものとし日を月に換算するときは30日をもって１月とすること。

(2) 第７条第２項各号の除算期間は朱書すること。

(3) 第２条第２号に該当する場合は、「勤務成績」欄は「業績」と書きかえて記入し、参考となる資料等を添付すること。

表彰状様式（１）第２条第１号該当者

表　彰　状

殿

あなたは　　年のながい間大学図書館関係の業務に精励されその功労はまことに大きいものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

令和　　年　　月　　日

九州地区大学図書館協議会

表彰状様式（２）第２条第２号該当者

表　彰　状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

令和　　年　　月　　日

九州地区大学図書館協議会

研修会の補助に関する申合せ

平成６年９月 20 日決定
平成７年９月　１日改正
平成８年４月 24 日改正
平成９年４月 25 日改正
平成 10 年４月 25 日改正
平成 15 年４月 25 日改正
平成 24 年４月 20 日改正
九州地区大学図書館協議会

地区の大学図書館活動を発展させるため、研修会、講演会等（以下「研修会」という。）の経費を補助する申合せ事項を次のとおり定める。

1. 研修会経費を補助する対象は、九州地区大学図書館協議会に加盟している大学図書館が主体となって構成する県又は地区単位の組織とし、別紙のとおりとする。
2. 補助する経費の金額は、年間１組織に対して２万円を限度とする。
3. 研修会に要する経費の補助を受けようとするときは、別記様式による申請書を幹事館に提出するものとする。
4. 経費の補助を受けた組織は、本協議会誌に活動報告を掲載するものとする。
5. 経費の支出は、積立金会計を適用する。
6. 新たな組織から経費の補助の申し出があったときは、総会において承認を得るものとする。
7. これに関する事務は、幹事館で行う。

別　紙

経費を補助する県又は地区単位の組織

1. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（北部地区）
2. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（福岡地区）
3. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（南部地区）
4. 長崎県大学図書館協議会
5. 熊本県大学図書館協議会
6. 大分県大学図書館協議会
7. 宮崎県大学図書館協議会
8. 鹿児島県大学図書館協議会
9. 沖縄県大学図書館協議会

別記様式

令和　　年度九州地区大学図書館協議会・研修会経費補助申請書

令和　　年　　月　　日

九州地区大学図書館協議会
幹事館　　殿

組織名
代表者
(所属大学)

九州地区大学図書館協議会の研修会経費の補助を受けたく、下記のとおり申請します。

記

研修会名及び内容	
開催期間	自　令和　　年　　月　　日（　）　　時　　分 至　令和　　年　　月　　日（　）　　時　　分
開催場所	
参加機関数	
参加人数	
必要経費（具体的に）	ア．講師謝金 ＿＿＿＿＿＿ イ．資料代金 ＿＿＿＿＿＿ ウ．会場借上費 ＿＿＿＿＿＿ エ．そ　の　他 ＿＿＿＿＿＿ 合　計 ＿＿＿＿＿＿
連絡担当者	氏名　　職　　電話

＊研修内容は、大学図書館活動を促進させるテーマであること。

副幹事館の役割

平成 10 年 8 月 31 日
幹事館・副幹事館会議

1　通　常　時
　1．年度の事業・活動についての立案・協議
　2．所属部会との連絡調整と情報の提供
　3．入会の勧誘等、協議会の広報（特に所属部会の各大学に対して）
　4．ホームページ充実のための提言案、意見具申
2　会誌発行時
　各部会から編集委員館は選出されているため、特に役割はないと思うが
　・所属部会の情報（研究発表等、原稿情報）の提供等
3　総　会　時
　1．副議長職に館長を選出等、当番館及び幹事館と協力しての総会運営
　2．前日決定された各部会における役員館の事務局への連絡
　3．総会終了後、当番館作成の議事録の確認
4　そ　の　他
　別段ある場合は、適宜副幹事館から提案

九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について

平成 10 年 8 月 31 日
平成 20 年 1 月 30 日改正
幹事館・副幹事館会議

1．九州地区大学図書館協議会ホームページ（以下、「ホームページ」という。）は、九州大学附属図書館のサーバに置く。
　（URL　http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/）
2．ホームページの管理、維持（デザイン・構成を含む）は、九州地区大学図書館協議会事務局（以下、「事務局」という。）が行う。
3．ホームページに掲載する事項は当面以下のものを中心に構成するものとし、それぞれ以下の館が作成する。
　・トピックス＆NEWS
　加盟館、各設置部会毎協議会、各県毎協議会等からの原稿に基づき事務局が作成
　総会議事録は総会当番館が原稿を作成

・加盟館一覧　事務局が作成
・役員館一覧　事務局が作成
・当番館一覧　事務局が作成
・九州地区大学図書館協議会誌
　事務局が作成（論文等執筆者に対しては原稿依頼時にホームページ掲載方の承諾を得るものとする。）
・地区内の図書館活動
　各設置部会毎の図書館協議会等及び各県毎協議会が作成
・各種関連資料集　事務局が作成
・関連サイトへのリンク集　事務局が作成
・地区内各館の相互利用案内　各加盟館からの原稿に基づき事務局が作成
・フォーラムページ
　協議会が設定するテーマに対する加盟館からの自由な意見・回答のページで、投稿は直接電子メールによる

4．「3.」のほか、ホームページに文書・記事等の掲載を希望する副幹事館及び加盟館は、HTML 形式等で原稿を作成し、事務局に送付するものとする。
　事務局は内容を確認のうえ、ホームページに掲載する。

九州地区大学図書館協議会加盟館一覧

2024(R6).1.1 現在

	館　　名	郵便番号	所　在　地	電話番号 ( ) 内は FAX 番号
国立	九州工業大学　附属図書館 (館長 安永卓生，情報基盤課長 播磨良輔)	804-8550	北九州市戸畑区仙水町１の１	093-884-3073 (093-884-3075)
	福岡教育大学　学術情報センター図書館 (センター長 小川亜弥子，学術情報課長(事務局長兼務) 牧野映也)	811-4192	宗像市赤間文教町１番５号	0940-35-1849 (0940-35-1705)
	九州大学　附属図書館 (館長 谷口倫一郎，事務部長 細川聖二)	819-0395	福岡市西区元岡７４４	092-802-2470 (092-802-2474)
	佐賀大学　附属図書館 (館長 中里理子，学術研究部長 秋保聡)	840-8502	佐賀市本庄町１	0952-28-8902 (0952-28-8909)
	長崎大学　附属図書館 (館長 浜田久之，学術情報部長 佐藤千夏)	852-8521	長崎市文教町１番１４号	095-819-2193 (095-819-2196)
	熊本大学　附属図書館 (館長 宮崎誓，教育研究支援部長 五十嵐孝一)	860-8555	熊本市中央区黒髪２丁目４０の１	096-342-2213 (096-342-2210)
	大分大学　学術情報拠点 (拠点長 中島 誠，研究推進部長 野田孝夫)	870-1192	大分市大字旦野原７００	097-554-7482 (097-554-7488)
	宮崎大学　附属図書館 (館長 石川千佳子，事務長 守矢 浩)	889-2192	宮崎市学園木花台西１丁目１番地	0985-58-2879 (0985-58-2880)
	鹿児島大学　附属図書館 (館長 山本智子，情報推進部長 佐藤秀)	890-0065	鹿児島市郡元１丁目２１番３５号	099-285-7415 (099-285-7413)
	鹿屋体育大学　附属図書館 (館長 山田理恵，国際・学術情報課長 川﨑伸一)	891-2393	鹿屋市白水町１番地	0994-46-4874 (0994-46-4157)
	琉球大学　附属図書館 (館長 東矢光代，事務部長 森 一郎)	903-0214	中頭郡西原町字千原１番地	098-895-8153 (098-895-8154)
公立	北九州市立大学　図書館 (館長 二宮正人，情報化推進課長 野田博司)	802-8577	北九州市小倉南区北方４丁目２の１	093-964-4404 (093-964-4437)
	九州歯科大学　附属図書館 (館長 中島啓介，学務部長 大山博史)	803-8580	北九州市小倉北区真鶴２丁目６の１	093-582-1131 (093-583-7388)
	北九州学術研究都市　学術情報センター (総務企画部長 森 善裕，学術情報担当課長 太田俊雄)	808-0135	北九州市若松区ひびきの１番３号	093-695-3150 (093-695-3152)
	福岡女子大学　附属図書館 (館長 宮川美佐子，副館長 小西鉄)	813-8529	福岡市東区香住ケ丘１丁目１の１	092-661-2411 (092-661-2416)
	福岡県立大学　附属図書館 (館長 石田智恵美，学務部長 西坂恭子)	825-8585	田川市伊田４３９５	0947-42-1760 (0947-42-9457)
	長崎県立大学　附属図書館 (館長 下野孝文,佐世保校館長 西岡誠治,佐世保校図書課長 野中哲也,シーボルト校図書課長 中村和正)	851-2195	西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１	095-813-5075 (095-813-5224)
	熊本県立大学　図書館 (館長 江﨑一朗，事務長 宮本真由美)	862-8502	熊本市東区月出３丁目１番１００号	096-321-6614 (096-383-2999)
	大分県立芸術文化短期大学　附属図書館 (館長 清水万敬，企画情報課長 阿南修次)	870-0833	大分市上野丘東１の１１	097-545-4235 (097-545-4235)
	大分県立看護科学大学　附属図書館 (館長 福田広美，財務グループリーダー 伊東美穂)	870-1201	大分市大字廻栖野２９４４-９	097-586-4330 (097-586-4373)
	宮崎公立大学　附属図書館 (館長 森部陽一郎，企画総務課長 長友由美)	880-8520	宮崎市船塚１丁目１番地２	0985-20-4814 (0985-20-4806)
	宮崎県立看護大学　附属図書館 (館長 串間敦郎，総務課長 衛藤洋介)	880-0929	宮崎市まなび野３－５－１	0985-59-7756 (0985-59-7773)
	鹿児島県立短期大学　附属図書館 (館長 岡村俊彦，副館長 大内田里美)	890-0005	鹿児島市下伊敷１丁目５２番１号	099-803-4475 (099-803-4473)
	沖縄県立看護大学　附属図書館 (館長 佐伯宣久，主事 屋比久瑞季)	902-8513	那覇市与儀１－２４－１	098-833-8806 (098-833-5134)

	館　　名	郵便番号	所　在　地	電話番号 （ ）内はFAX番号
公立	沖縄県立芸術大学　附属図書・芸術資料館 （館長 森 達也，主査 久手堅文子）	903-8602	那覇市首里当蔵町１－４	098-882-5038 （098-882-5068）
	名桜大学　附属図書館 （館長 小番　達，図書課長 神谷順子）	905-8585	沖縄県名護市字為又１２２０－１	0980-51-1062 （0980-54-0052）
私立	西日本工業大学　図書館 （館長 鷹尾良行，学務課長 宇佐圭司）	800-0394	福岡県京都郡苅田町新津１－１１	0930-23-7729 （0930-24-7900）
	西南女学院大学　図書館 （館長 岡田和敏，課長 垂水典子）	803-0835	北九州市小倉北区井堀１丁目３の５	093-583-5959 （093-592-1885）
	九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学　図書館 （館長 赤松貴文，主任司書 内川梓）	803-8511	北九州市小倉北区下到津５の１の１	093-561-3541 （093-592-6184）
	九州国際大学　図書館 （館長 山口秋義，事務室長 井上秀一（兼務））	805-8512	北九州市八幡東区平野１丁目６の１	093-671-8919 （093-671-8920）
	九州共立大学　附属図書館 （館長 島尻芳人（兼務），図書情報課長 矢崎美香（兼務））	807-8585	北九州市八幡西区自由ケ丘１－８	093-693-3036 （093-603-2260）
	九州女子大学・短期大学　附属図書館 （館長 島尻芳人（兼務），図書情報課長 矢崎美香（兼務））	807-8586	北九州市八幡西区自由ケ丘１－１	093-693-3124 （093-603-0494）
	福岡工業大学　附属図書館 （館長 木室義彦，事務部長 中島良二）	811-0295	福岡市東区和白東３－３０－１	092-606-0691 （092-606-7389）
	福岡女学院大学　図書館 （館長 大國眞希，課長 福原香織）	811-1313	福岡市南区曰佐３丁目４２の１	092-575-6402 （092-575-4605）
	九州産業大学　図書館 （館長 西村香織，事務部長 宮丸由美子）	813-8503	福岡市東区松香台２丁目３の１	092-673-5382 （092-673-5999） （092-673-5926）
	福岡国際医療福祉大学　図書館 （館長 森 望，司書 井村普也）	814-0001	福岡市早良区百道浜３丁目６の４０	092-832-1200 （092-832-1167）
	福岡大学　図書館 （館長 佐藤 伸，事務部長 小栁利行）	814-0180	福岡市城南区七隈８丁目１９の１	092-871-6631 （092-865-3794）
	中村学園大学　メディアセンター（図書館） （センター長 山本朋弘，部長 赤司博文）	814-0198	福岡市城南区別府５丁目７の１	092-851-2573 （092-841-7762）
	西南学院大学　図書館 （館長 黒木重雄，事務部長 平山 崇）	814-8511	福岡市早良区西新６丁目２番９２号	092-823-3426 （092-823-3480）
	純真学園大学　図書館 （館長 石橋孝明，主任 山本哲也）	815-0036	福岡市南区筑紫丘１丁目１番１号	092-541-1527 （092-541-1542）
	第一薬科大学　図書館 （館長 松原 大，主任司書 古沢恒平）	815-8511	福岡市南区玉川町２２の１	092-541-0161 （092-542-5698）
	九州情報大学　附属図書館 （館長 丹羽崇之，図書館司書 井上理恵子）	818-0117	太宰府市宰府６丁目３番１号	092-928-4000 （092-928-3200）
	筑紫女学園大学　附属図書館 （学術情報部長 髙木佳世子，大学総務班主査 半田 隆）	818-0192	太宰府市石坂２丁目１２－１	092-925-9910 （092-925-3318）
	久留米工業大学　学術情報センター （館長 麻生 茂，図書館室長 窪田俊哉）	830-0052	久留米市上津町２２２８－６６	0942-65-3480 （0942-22-2385）
	久留米大学　附属図書館 （館長 桑野栄治，課長 野田俊介）	839-8502	久留米市御井町１６３５	0942-44-4015 （0942-43-0348）
	国際医療福祉大学　大川キャンパス図書館 （館長 小荒田秀一，事務局長 田中博也）	831-8501	大川市榎津１３７－１	0944-89-2143 （0944-86-6000）
	西九州大学　附属図書館 （館長 近藤芳昭，小城キャンパス総務課長兼図書課長 奥 慎一郎）	842-8585	神埼市神埼町尾崎４４９０－９	0952-37-9299 （0952-53-7869）
	活水女子大学　図書館 （館長 狩野暁洋，課長 奥村治輝）	850-8515	長崎市東山手町１－５０	095-820-6028 （095-823-3701）
	長崎総合科学大学　附属図書館 （館長 板倉数記，図書課長 山川邦子）	851-0193	長崎市網場町５３６	095-838-5141 （095-838-2072）

	館　　名	郵便番号	所　在　地	電話番号 （ ）内はFAX番号
私	長崎外国語大学　教育研究メディアセンター (センター長 野田雄史, マルチメディアライブラリー事務室長補佐 別所佐和子)	851-2196	長崎市横尾３－１５－１	095-840-2005 (095-840-2205)
	長崎純心大学　早坂記念図書館 (館長 浜口美由紀，司書 熊野志保)	852-8558	長崎市三ツ山町２３５	095-846-0084 (095-845-4279)
	鎮西学院大学　附属図書館 (館長 菅原良子，司書 天野みゆき)	854-0082	諫早市西栄田町１２１２－１	0957-26-8203 (0957-26-0244)
	長崎国際大学　図書館 (館長 岸原健二，図書課長 久保隆司)	859-3298	佐世保市ハウステンボス町２８２５－７	0956-20-5560 (0956-39-4894)
	崇城大学　図書館 (館長 関根浩子，課長 早見久美子)	860-0082	熊本市西区池田４丁目２２－１	096-326-3419 (096-359-3002)
	九州ルーテル学院大学　図書館 (館長 有村達之，総務課図書館担当 緒方聡)	860-8520	熊本市中央区黒髪３丁目１２－１６	096-343-1600 (096-343-0354)
	熊本学園大学　付属図書館 (館長 金 栄緑，図書情報課長 林田利子)	862-8680	熊本市中央区大江２丁目５番１号	096-371-8047 (096-364-5173)
	東海大学 フェニックスカレッジ熊本（九州図書館） (館長 伊藤是清)	862-8652	熊本市東区渡鹿９－１－１	096-386-2634 (096-386-2769)
	熊本保健科学大学　附属図書館 (館長 古閑陽一，教学支援課長 山﨑栄子)	861-5598	熊本市北区和泉町３２５	096-275-2264 (096-275-2265)
	九州看護福祉大学　附属図書館 (館長 松本鈴子，図書課長 福本直子)	865-0062	玉名市富尾８８８	0968-75-1840 (0968-75-1873)
	日本文理大学　図書館 (館長 福島 学，係長 渡辺浩江)	870-0397	大分市大字一木 1727	097-524-2711 (097-593-5166)
	立命館アジア太平洋大学　ライブラリー (総合情報センター長 Khan Muhammad T, アカデミック・オフィス課長 山下啓祐)	874-8577	別府市十文字原１－１	0977-78-1140 (0977-78-1141)
	別府大学　附属図書館 (館長 浅野則子，総務・研究推進課長 畑中美智子)	874-8501	別府市大字北石垣８２	0977-66-9633 (0977-66-9632)
	九州保健福祉大学　附属図書館 (館長 倉内紀子，課長 矢野朋光)	882-8508	延岡市吉野町１７１４－１	0982-23-5562 (0982-23-5560)
	宮崎産業経営大学　附属図書館 (館長 日高光宣，課長 甲斐康弘)	880-0931	宮崎市古城町丸尾１００	0985-52-3205 (0985-50-4699)
	南九州学園　図書館 (館長 菅野 善明，図書課長 赤木裕美)	880-0032	宮崎市霧島５－１－２	0985-83-3430 (0985-83-3431)
	宮崎学園 図書館　(宮崎国際大学･宮崎学園短期大学) (館長 川越勇二，事務係長　永春留美)	889-1605	宮崎市清武町加納丙１４１５	0985-85-1410 (0985-85-8189)
立	鹿児島国際大学　附属図書館 (館長 久保禎，図書館事務室長 濵田照美)	891-0197	鹿児島市坂之上８－３４－１	099-263-0732 (099-261-1198)
	鹿児島純心大学　附属図書館 (館長 仙波玲子，図書課長 岩永眞佐子)	895-0011	薩摩川内市天辰町２３６５	0996-23-5311 (0996-23-5030)
	志學館大学　図書館 (館長 畑井清隆，主任司書 荻迫香)	890-8504	鹿児島市紫原一丁目５９－１	099-812-8501 (099-257-0308)
	沖縄国際大学　図書館 (館長 山口真也，課長 井口忠)	901-2701	宜野湾市宜野湾２丁目６番１号	098-892-1111 (098-893-3274)
	沖縄大学　図書館 (館長 崔珉 寧，事務長 城間尚樹)	902-8521	那覇市字国場５５５	098-832-5577 (098-834-1127)
	沖縄キリスト教学院　図書館 (館長 上原明子，課長 多根宏治)	903-0207	沖縄県中頭郡西原町字翁長７７７	098-946-1236 (098-946-1237)
	沖縄科学技術大学院大学　図書館 (館長 エヴァン エコノモ，マネージャー 上原藤子)	904-0495	沖縄県国頭郡恩納村字茶谷１９１９－１	098-982-3769

九州地区大学図書館協議会役員館一覧

年　次 (回次)	幹事館	監査館	表　彰　委　員　館			編集委員館
昭和 48 年度 (24)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	福岡教育大学 長崎国際経済大学 福岡大学	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南学院大学	
昭和 49 年度 (25)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	九州工業大学 長崎国際経済大学 西南学院大学	九州芸術工科大学 長崎県立女子短大 福岡大学	
昭和 50 年度 (26)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	佐賀大学 北九州大学 久留米大学	長崎大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和 51 年度 (27)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 九州歯科大学 久留米大学	大分大学 長崎国際経済大学 西南学院大学	
昭和 52 年度 (28)	九州大学	福岡大学	国 公 私	福岡教育大学 福岡女子大学 西南学院大学	鹿児島大学 熊本女子大学 九州産業大学	
昭和 53 年度 (29)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南学院大学	九州芸術工科大学 長崎国際経済大学 久留米大学	
昭和 54 年度 (30)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 北九州大学 九州産業大学	佐賀大学 九州歯科大学 久留米大学	
昭和 55 年度 (31)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎大学 福岡社会保育短大 西南学院大学	九州工業大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和 56 年度 (32)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	福岡教育大学 熊本女子大学 九州産業大学	熊本大学 鹿児島県立短大 福岡大学	
昭和 57 年度 (33)	九州大学	福岡大学	国 公 私	長崎大学 北九州大学 八幡大学	鹿児島大学 福岡女子大学 熊本商科大学	
昭和 58 年度 (34)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	琉球大学 福岡社会保育短大 鹿児島経済大学	宮崎医科大学 鹿児島県立短大 八幡大学	
昭和 59 年度 (35)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 中村学園大学	大分医科大学 長崎県立女子短大 西日本工業大学	
昭和 60 年度 (36)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	宮崎大学 熊本女子大学 鹿児島経済大学	九州工業大学 大分県立芸術短大 西日本工業大学	
昭和 61 年度 (37)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	熊本大学 北九州大学 長崎総合科学大学	大分大学 福岡社会保育短大 第一薬科大学	
昭和 62 年度 (38)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	宮崎医科大学 福岡女子大学 九州東海大学	大分医科大学 九州歯科大学 沖縄国際大学	

年　次 (回次)	幹事館	監査館	表　彰　委　員　館			編集委員館
昭和 63 年度 (39)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 福岡大学	琉球大学 鹿児島県立短期大学 八幡大学	
平成元年度 (40)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 長崎県立女子短期大学 西南学院大学	佐賀大学 熊本女子大学 中村学園大学	
平成２年度 (41)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	福岡教育大学 北九州大学 九州産業大学	長崎大学 大分県立芸術文化短期大学 熊本商科大学	九州大学 大分医科大学 福岡女子大学 福岡大学 福岡女子短期大学
平成３年度 (42)	九州大学	福岡大学	国 公 私	九州工業大学 福岡県社会保育短期大学 久留米大学	鹿児島大学 長崎県立大学 西日本工業大学	九州大学 鹿屋体育大学 九州歯科大学 中村学園大学 筑紫女学園短期大学
平成４年度 (43)	九州大学	福岡女子短期大学	国 公 私	宮崎大学 福岡女子大学 鹿児島経済大学	大分大学 九州歯科大学 活水女子大学	九州大学 福岡教育大学 北九州大学 九州国際大学 東筑紫短期大学
平成５年度 (44)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎医科大学 熊本女子大学 活水女子大学	大分医科大学 鹿児島県立短期大学 鹿児島経済大学	九州大学 熊本大学 福岡女子大学 西南学院大学 筑紫女学園短期大学
平成６年度 (45)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	熊本大学 大分県立芸術文化短期大学 活水女子大学	佐賀医科大学 宮崎公立大学 鹿児島経済大学	九州大学 宮崎大学 福岡県立大学 九州産業大学 筑紫女学園短期大学
平成７年度 (46)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	鹿屋体育大学 北九州大学 第一薬科大学	琉球大学 長崎県立大学 南九州大学	九州大学 九州工業大学 九州歯科大学 久留米大学 筑紫女学園短期大学
平成８年度 (47)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州東海大学	佐賀大学 九州歯科大学 熊本学園大学	九州大学 大分大学 北九州大学 九州共立大学 西南女学院短期大学
平成９年度 (48)	九州大学	福岡教育大学	国 公 私	九州工業大学 熊本県立大学 九州女子大学	宮崎大学 鹿児島県立短期大学 久留米工業大学	九州大学 佐賀大学 九州歯科大学 福岡大学 西南女学院短期大学

年　次 (回次)	幹事館	副　幹　事　館		監　査　館	表彰委員館	編集委員館
平成 10 年度 (49)	九州大学	国 公 私 私短	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州国際大学 中九州短期大学	中村学園大学	福岡教育大学 長崎大学 福岡県立大学 長崎県立女子短期大学 西日本工業大学 筑紫女学園大学	九州大学 佐賀医科大学 福岡女子大学 第一薬科大学 福岡国際大学・福岡女子短期大学
平成 11 年度 (50)	九州大学	国 公 私 私短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島経済大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 別府大学 中九州短期大学	九州大学 佐賀大学 長崎大学 福岡県立大学 熊本工業大学 福岡国際大学・福岡女子短期大学
平成 12 年度 (51)	九州大学	国 公 私 私短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島国際大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡女子大学	大分大学 宮崎県立大学 宮崎国際大学 中九州短期大学	九州大学 沖縄国際大学 宮崎医科大学 北九州大学 西南女学院大学 福岡国際大学・福岡女子短期大学
平成 13 年度 (52)	九州大学	国 公 私 私短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡教育大学	宮崎医科大学 北九州市立大学 筑紫女学園大学 沖縄キリスト教短期大学	鹿児島大学 九州歯科大学 西九州大学 活水女子短期大学 九州大学 九州女子大学
平成 14 年度 (53)	九州大学	国 公 私 私短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡工業大学	大分医科大学 熊本県立大学 九州情報大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡県立大学 鹿児島純心女子大学 活水女子短期大学 九州大学 大分大学
平成 15 年度 (54)	九州大学	国 公 私 私短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	筑紫女学園大学・短期大学	鹿屋体育大学 宮崎県立看護大学 九州ルーテル学院大学 筑紫女学園大学・短期大学	九州工業大学 福岡女子大学 九州看護福祉大学 西南女学院大学・短期大学 九州大学 宮崎大学
平成 16 年度 (55)	九州大学	国 公 私 私短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	西南学院大学	熊本大学 福岡女子大学 志學館大学 東九州女子短期大学	福岡教育大学 九州歯科大学 南九州大学・南九州短期大学 西南女学院大学・短期大学
平成 17 年度 (56)	九州大学	国 公 私 私短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	九州産業大学	琉球大学 沖縄県立看護大学 西南女学院大学 鹿児島純心女子短期大学	熊本大学 北九州市立大学 西日本工業大学 鹿児島純心女子短期大学
平成 18 年度 (57)	九州大学	国 公 私 私短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	福岡国際大学・ 福岡女子短期大学	佐賀大学 鹿児島県立短期大学 福岡女学院大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	鹿屋体育大学 福岡県立大学 筑紫女学園大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成 19 年度 (58)	九州大学	国 公 私 私短	熊本大学 宮崎県立看護大学 福岡大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	中村学園大学	九州工業大学 九州歯科大学 久留米工業大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡教育大学 福岡女子大学 九州女子大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学

年　次 (回次)	幹事館	副　幹　事　館		監　査　館	表彰委員館	編集委員館
平成 20 年度 (59)	九州大学	国 公 私 私短	熊　本　大　学 宮崎県立看護大学 福　岡　大　学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡教育大学	宮　崎　大　学 大分県立看護科学大学 別　府　大　学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	長　崎　大　学 九　州　歯　科　大　学 鹿児島国際大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成 21 年度 (60)	九州大学	国 公 私 私短	大　分　大　学 福　岡　県　立　大　学 九　州　産　業　大　学 九州大谷短期大学	福岡女子大学	福　岡　教　育　大　学 宮　崎　公　立　大　学 福岡国際大学･福岡女子短期大学 鹿児島女子短期大学	鹿　児　島　大　学 北九州市立大学 西南女学院大学 中九州短期大学
平成 22 年度 (61)	九州大学	国 公 私 私短	大　分　大　学 福　岡　県　立　大　学 九　州　産　業　大　学 九州大谷短期大学	福　岡　大　学	長　崎　大　学 福　岡　女　子　大　学 鹿児島純心女子大学 鹿児島女子短期大学	九　州　工　業　大　学 北九州学術研究都市学術情報センター 活　水　女　子　大　学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成 23 年度 (62)	九州大学	国 公 私 私短	宮　崎　大　学 長　崎　県　立　大　学 熊　本　学　園　大　学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡工業大学	鹿　児　島　大　学 大分県立芸術文化短期大学 福　岡　女　学　院　大　学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	佐　賀　大　学 福　岡　県　立　大　学 九　州　国　際　大　学 九州大谷短期大学
平成 24 年度 (63)	九州大学	国 公 私 私短	宮　崎　大　学 長　崎　県　立　大　学 熊　本　学　園　大　学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	筑紫女学園大学・短期大学	大　分　大　学 沖縄県立看護大学 九　州　東　海　大　学 九州大谷短期大学	琉　球　大　学 福　岡　女　子　大　学 沖　縄　国　際　大　学 鹿児島女子短期大学
平成 25 年度 (64)	九州大学	国 公 私 私短	鹿　児　島　大　学 鹿児島県立短期大学 久　留　米　大　学 鹿児島女子短期大学	西南学院大学	鹿　屋　体　育　大　学 北　九　州　市　立　大　学 九　州　共　立　大　学 鹿児島純心女子短期大学	宮　崎　大　学 九　州　歯　科　大　学 聖マリア学院大学 鹿児島純心女子短期大学
平成 26 年度 (65)	九州大学	国 公 私 私短	鹿　児　島　大　学 鹿児島県立短期大学 久　留　米　大　学 鹿児島女子短期大学	九州産業大学	熊　本　大　学 熊　本　県　立　大　学 九州保健福祉大学 東　九　州　短　期　大　学	大　分　大　学 北九州市立大学 西　九　州　大　学 東九州短期大学
平成 27 年度 (66)	九州大学	国 公 私 私短	鹿　屋　体　育　大　学 九　州　歯　科　大　学 沖　縄　国　際　大　学 鹿児島純心女子短期大学	中村学園大学	琉　球　大　学 鹿児島県立短期大学 九　州　情　報　大　学 福岡国際大学・福岡女子短期大学	熊　本　大　学 北九州学術研究都市学術情報センター 西日本工業大学 福岡国際大学・福岡女子短期大学
平成 28 年度 (67)	九州大学	国 公 私 私短	鹿　屋　体　育　大　学 九　州　歯　科　大　学 沖　縄　国　際　大　学 鹿児島純心女子短期大学	福岡教育大学	佐　賀　大　学 北九州学術研究都市学術情報センター 長崎総合科学大学 鹿児島女子短期大学	福　岡　教　育　大　学 福　岡　女　子　大　学 沖縄キリスト教学院大学 鹿児島女子短期大学
平成 29 年度 (68)	九州大学	国 公 私 私短	琉　球　大　学 大分県立看護科学大学 九　州　国　際　大　学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡女子大学	九　州　工　業　大　学 長　崎　県　立　大　学 西日本工業大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	鹿　屋　体　育　大　学 福　岡　県　立　大　学 九　州　情　報　大　学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成 30 年度 (69)	九州大学	国 公 私 私短	琉　球　大　学 大分県立看護科学大学 九　州　国　際　大　学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福　岡　大　学	宮　崎　大　学 宮崎県立看護大学 沖縄科学技術大学院大学 鹿児島純心女子短期大学	長　崎　大　学 九　州　歯　科　大　学 熊本保健科学大学 鹿児島純心女子短期大学
平成 31 年度 (令和元年度) (70)	九州大学	国 公 私 私短	佐　賀　大　学 宮　崎　公　立　大　学 福　岡　工　業　大　学 福岡女子短期大学	福岡工業大学	福　岡　教　育　大　学 福　岡　県　立　大　学 純　真　学　園　大　学 福岡女子短期大学	鹿　児　島　大　学 北九州市立大学 西南女学院大学 福岡女子短期大学
令和２年度 (71)	九州大学	国 公 私 私短	佐　賀　大　学 宮　崎　公　立　大　学 福　岡　工　業　大　学 福岡女子短期大学	筑紫女学園大学	長　崎　大　学 大分県立看護科学大学 九州ルーテル学院大学 鹿児島女子短期大学	九　州　工　業　大　学 北九州学術研究都市学術情報センター 宮　崎　国　際　大　学 鹿児島女子短期大学

年　次 (回次)	幹事館	副　幹　事　館		監　査　館	表彰委員館	編集委員館
令和３年度 (72)	九州大学	国 公 私 私短	九州工業大学 福岡女子大学 福岡工業大学 鹿児島女子短期大学	西南学院大学	鹿児島大学 宮崎公立大学 九州国際大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	佐賀大学 福岡女子大学 久留米工業大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
令和４年度 (73)	九州大学	国 公 私 私短	九州工業大学 福岡女子大学 福岡工業大学 鹿児島女子短期大学	九州産業大学	大分大学 九州歯科大学 鹿児島純心女子大学 鹿児島純心女子短期大学	琉球大学 福岡県立大学 鎮西学院大学 鹿児島純心女子短期大学
令和５年度 (74)	九州大学	国 公 私	福岡教育大学 熊本県立大学 久留米大学	中村学園大学	鹿屋体育大学 大分県立芸術文化短期大学 第一薬科大学	宮崎大学 九州歯科大学 九州女子大学・短期大学
令和６年度 (75)	九州大学	国 公 私				

九州地区大学図書館協議会総会当番館一覧

回次	年度	県別	大学
1	25	福岡	九州大学
2	26	熊本	熊本大学
3	27	長崎	長崎大学
4	28	佐賀	佐賀大学
5	29	鹿児島	鹿児島大学
6	30	宮崎	宮崎大学
7	31	大分	大分大学
8	32	福岡	西南学院大学
9	33	福岡	九州大学
10	34	熊本	熊本大学
11	35	福岡	九州工業大学
12	36	長崎	長崎大学
13	37	福岡	福岡大学
14	38	佐賀	佐賀大学
15	39	福岡	福岡教育大学
16	40	宮崎	宮崎大学
17	41	福岡	八幡大学
18	42	鹿児島	鹿児島大学
19	43	福岡	九州大学
20	44	熊本	熊本商科大学
21	45	福岡	久留米大学
22	46	大分	大分大学
23	47	福岡	北九州大学
24	48	長崎	長崎大学
25	49	福岡	九州産業大学
26	50	佐賀	佐賀大学
		〃	佐賀龍谷短期大学
27	51	沖縄	琉球大学
28	52	福岡	九州大学
29	53	大分	大分大学
30	54	宮崎	宮崎大学
31	55	福岡	九州歯科大学
		〃	福岡女子大学
		〃	福岡県社会保険短期大学
32	56	熊本	熊本女子大学
33	57	鹿児島	鹿児島大学
		〃	鹿児島県立短期大学
		〃	鹿児島経済大学

回次	年度	県別	大学
34	58	福岡	西日本工業大学
35	59	長崎	長崎大学
36	60	宮崎	宮崎医科大学
		大分	大分県立芸術短期大学
		宮崎	南九州大学
		長崎	純心女子短期大学
37	61	福岡	九州芸術工科大学
38	62	佐賀	佐賀医科大学
39	63	沖縄	琉球大学
40	平成元	福岡	北九州大学
41	2	大分	大分医科大学
42	3	鹿児島	鹿屋体育大学
43	4	福岡	西南学院大学
44	5	熊本	九州東海大学
45	6	宮崎	宮崎産業経営大学
46	7	福岡	九州工業大学
47	8	長崎	長崎大学
48	9	鹿児島	鹿児島経済大学
49	10	福岡	福岡女子大学
50	11	佐賀	佐賀大学
51	12	沖縄	沖縄国際大学
52	13	福岡	九州女子大学
53	14	大分	大分大学
54	15	宮崎	宮崎大学
55	16	福岡	福岡教育大学
56	17	熊本	熊本大学
57	18	鹿児島	鹿屋体育大学
58	19	福岡	九州大学
59	20	長崎	長崎大学
60	21	沖縄	琉球大学
61	22	福岡	福岡県立大学
		〃	九州歯科大学
		〃	北九州学術研究都市（学術情報ｾﾝﾀｰ）
62	23	佐賀	佐賀大学
63	24	鹿児島	鹿児島大学
64	25	福岡	福岡教育大学
65	26	大分	大分大学学術情報拠点
66	27	宮崎	宮崎大学

回次	年度	県別	大　学
67	28	福　岡	九　州　大　学
68	29	長　崎	長　崎　大　学
69	30	鹿児島	鹿　屋　体　育　大　学
70	31	福　岡	九　州　工　業　大　学
71	令和2	熊　本	熊　本　大　学
72	3	沖　縄	琉　球　大　学
73	4	福　岡	福　岡　教　育　大　学
74	5	佐　賀	佐　賀　大　学
75	6	鹿児島	鹿　児　島　大　学
76	7		

先生方のお役に立つ為に

アプライドはパソコンだけではありません
アプライドができる事まとめました
是非、ご相談ください

アプライド
Computer & Internet　Audio & Visual

パソコン・周辺機器販売・ネット環境の構築

ワークステーション・ＮＡＳ販売

ＤＸ化のご提案・レンタル事業・研究所のリモート化

広報支援・WEB制作・動画制作

アプライド for University

まずはアプライドにお任せください!

https://www.applied.ne.jp/#　アプライド 大学　検索

アプライド株式会社
SI福岡営業部
TEL 092-481-7802
E-MAIL gaihan@applied-net.co.jp

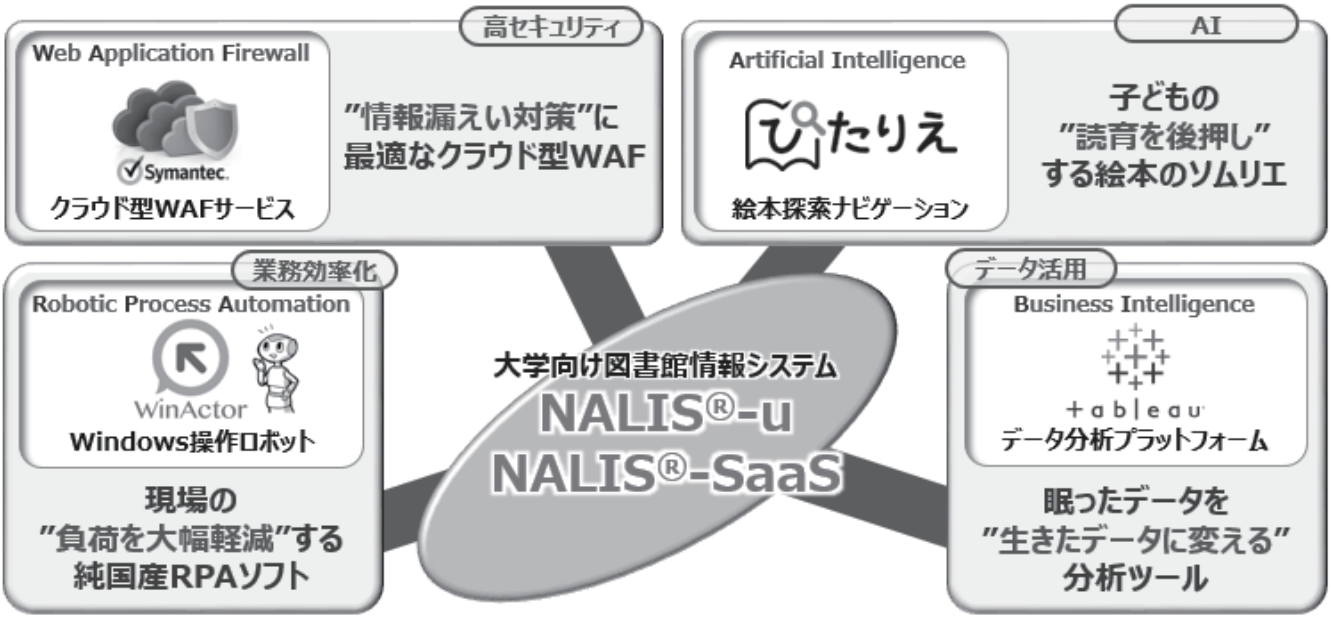
図書館情報システム ＮＡＬＩＳ

～クラウド型サービス、先進の周辺ソリューションを提供～

株式会社 NTT データ九州

図書館情報システム NALIS は、『堅牢なデータセンタ』、『安全なネットワーク』、『高度なセキュリティ』を柱としたクラウド型サービスを提供します。

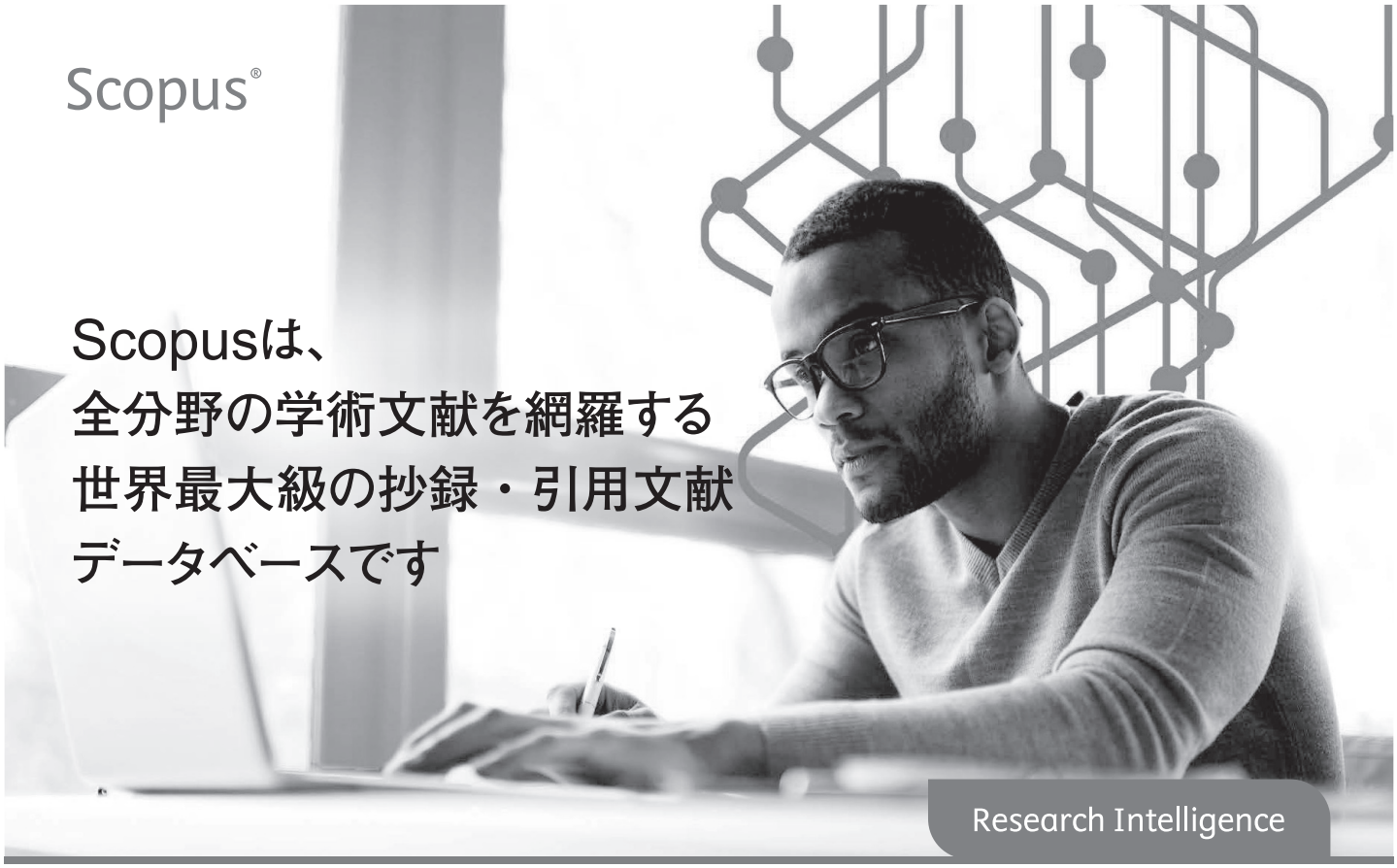
また、先進の周辺ソリューションにより、図書館に新たな付加価値をご提供します。



NTT DATA
Trusted Global Innovator

【お問い合わせ先】 株式会社 NTT データ九州
公共システム事業部 文教ビジネス統括部
電話 ：092-475-5145
Email ：nalis@nttdata-kyushu.co.jp

Scopus®



Scopusは、
全分野の学術文献を網羅する
世界最大級の抄録・引用文献
データベースです

Research Intelligence

9,300万
レコード

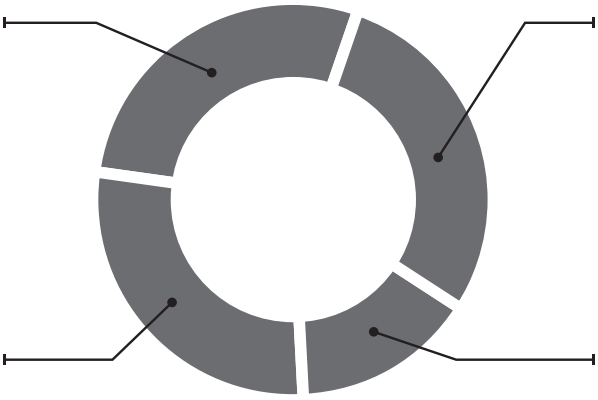
27,000+
アクティブ（出版継続中）タイトル

7,000+
出版社

収録コンテンツ：

社会科学
28%
14,553タイトル

ヘルスサイエンス
29%
15,167タイトル



物理科学
28%
14,558タイトル

ライフサイエンス
15%
7,818タイトル

ELSEVIER

専任コンサルタントが、各機関のニーズに応じたコンサルティングサービスをご提供しています。
詳細は下記までお問い合わせください。

エルゼビア・ジャパン株式会社
〒106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 東麻布一丁目ビル4階
E-mail：jp.pr@elsevier.com　https://www.elsevier.com/ja-jp

Copyright © 2022 Elsevier B.V. July 2022

人を想い、場を創る。

okamura

図書館の新しいカタチ

図書館はいまその姿を変えようとしています。
「本を保管して閲覧するための場所」から、
「市民活動や学習・研究をサポートする場所」へと進化をはじめました。
みんなの居場所として暮らしにとけこむ図書館、
学習を支え人を育てる図書館という新しい役割が期待されています。

オカムラのトータルコーディネート

https://www.okamura.co.jp/　株式会社オカムラ　西日本支社　TEL:092-482-8822

キングテック株式会社
KINGTEC CORPORATION

http://www.kingtec.jp

福岡 オフィスパートナー
FUKUOKA OFFICE PARTNER

http://www.fukuoka.kingtec.jp

～オフィスの変革をカタチにする～

快適で働きやすいオフィス環境をサポートします。
リノベーションから補修まで、幅広いサービスをワンストップで提供します。

キングテック株式会社　福岡支店

〒812-0062　福岡県福岡市東区松島1-34-17
TEL 092-622-4400　FAX 092-624-6195
本社：北九州市小倉北区東港2－5－1
支店：東京・名古屋・大阪・広島・山口・熊本・大分・鹿児島・沖縄

最適な空間をご提案いたします

金剛は、お客様と共に
それぞれの施設に応じた空間・環境づくりを行っています。

図書館の開架・閉架書架 / 博物館・美術館の保存設備など

安心と先進で社会文化に貢献する

金剛株式会社

www.kongo-corp.co.jp

熊本本社 / 熊本市西区上熊本 3-8-1　TEL（096）355-1111（代）
九州支店 / 福岡市博多区博多駅前 2-20-15　第 7 岡部ビル 9F
TEL（092）433-3988

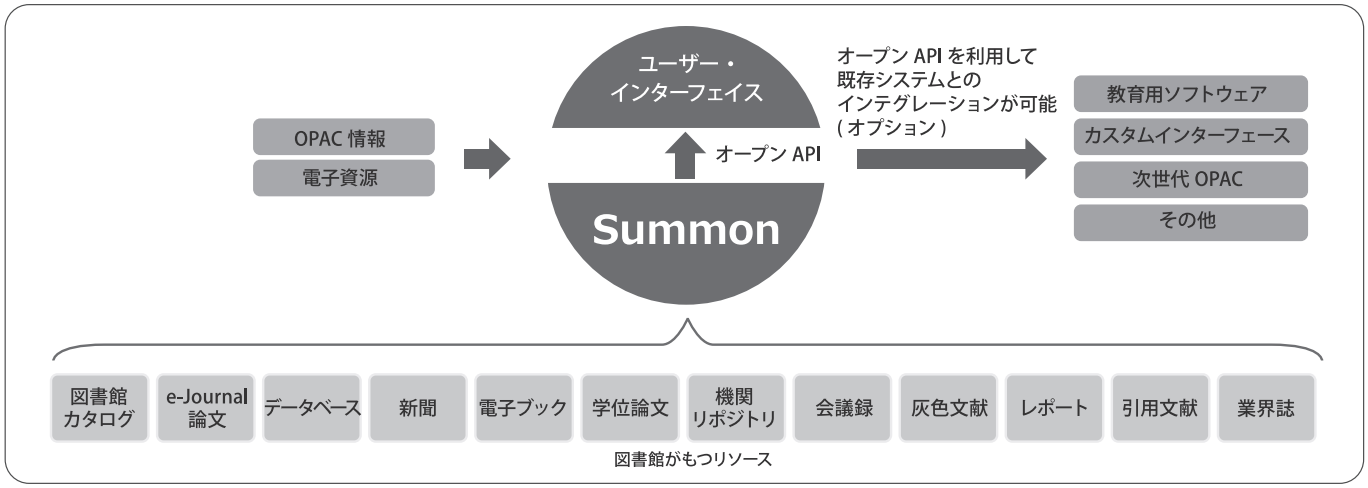
支店・営業所 / 仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・広島・岡山・高松
福岡・大分・長崎・佐賀・熊本・八代・天草・宮崎
鹿児島・沖縄

ウェブスケールディスカバリーサービス

ExLibris
Summon

図書館が提供する様々な種類の学術資料を一つの検索窓からまとめて検索することができます

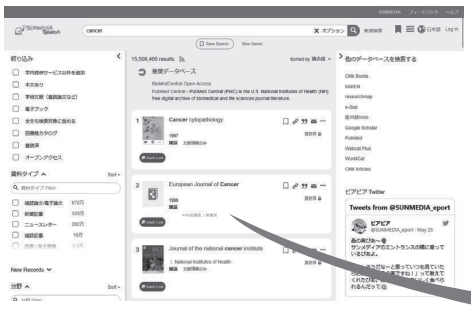
Summon は Ex Libris, Part of Clarivate 社のウェブスケールディスカバリーサービスです。
グーグルのようなシンプルなインターフェイスから図書館独自の広範囲で信頼性の高い情報へすばやくアクセスすることができます。



POINT 1
すべてのリソースを一度に検索
すべてのリソースをたったひとつの検索窓から見つけることができます。現在のインターネットユーザーのニーズを満たす新しい学術情報の検索スタイルを提供します。

POINT 2
信頼のおけるコンテンツだけを検索
検索対象はすべて図書館のコンテンツです。信頼性が高く、しかも入手可能なコンテンツにのみアクセスすることができます。

POINT 3
瞬時に検索結果を表示
図書館で利用できるすべてのリソースのメタデータをあらかじめハーベスティングさせるので、Google なみの検索スピードを実現します。



図書館システムと連携して所蔵・貸出情報をリアルタイムで表示
冊子の検索結果には現在の貸し出し状況や保管場所が表示されます。検索結果をクリックすると図書館 OPAC のライブリンクになっています。

中央図書館 ,3 階書架

SaaS 型サービスなので導入・メンテナンスの手間がかかりません
Software as a Service(SaaS) で提供されるため、サーバーの設置やアップデート、メンテナンスといった作業に人員を割く必要はありません。常に最新で最適な状態でサービスを利用することが出来ます。

目的の資料へ的確にナビゲートします
ファセット機能によりフォーマット、主題、出版年などによる絞り込み検索を効率的に実行できます。
また、360Link などのリンクリゾルバと連携して該当の資料に確実にたどり着くことができます。

360 Link

お見積もりやトライアルのご相談は…

Content Solutions Company SUNMEDIA

株式会社サンメディア　e-Port カンパニー
e-mail：e-port@sunmedia.co.jp　東京都中野区本町 3-10-3　PORT ビル　Tel：03-3299-1575

文献管理と共有、
論文作成を支援する Web サービス

RefWorks

RefWorks は Ex Libris, Part of Clarivate 社の提供する文献管理ツールです。PubMed や医中誌 Web、Google Scholar などのデータベースで見つけた文献情報を簡単に取り込み、クラウド上で管理することができます。
取り込んだ文献情報を使って論文の参考文献リストを指定した形式で簡単に出力することもできます。

ドラッグ & ドロップで簡単に取り込み

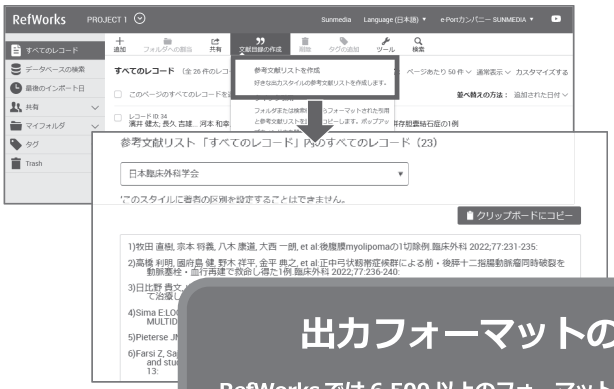
PDF をドラッグ＆ドロップするだけで本文と書誌情報を取り込みます。
本文はいつでも RefWorks 上で閲覧できます。

Web サイトの情報を取り込む"Save to RefWorks"

お気に入りに登録した "Save to RefWorks" をクリックすると、
Web サイトの情報を自動的に取り込みます。

参考文献リストの作成

RefWorks 上で書誌情報と出力フォーマットを選択するだけで、参考文献リストを作成できます。



▶Wordで論文を執筆中の方へ！

RefWorks Citation Manager

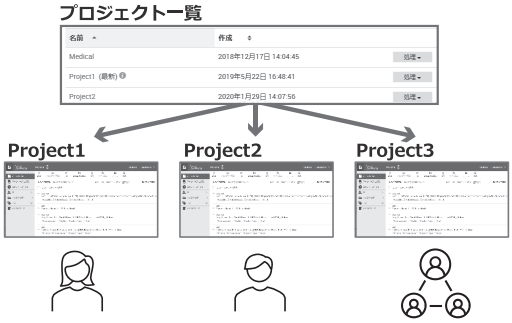
アドインを利用し、Wordで作成中の論文に文中引用・参考文献リストを直接挿入できます。

出力フォーマットの作成依頼 も承ります！

RefWorks では 6,500 以上のフォーマットから選択し参考文献リストを作成できます。また、目的の出力フォーマットが見つからない場合は、投稿規定等をもとにサンメディアで出力フォーマットを作成いたします。

共同研究者と共有する

目的に応じてプロジェクトに分けて RefWorks を利用可能です。
プロジェクトを共有して共同研究に利用することもできます。



大好評！ オンライン講習会を開催します

RefWorks の利用方法を分かりやすく解説する講習会を開催します。
サンメディアまでご連絡ください。

今なら
無料トライアル受付中！
https://www.sunmedia.co.jp/e-port-kaigai-trial-form/
お気軽にお申込みください！

Content Solutions Company SUNMEDIA
株式会社サンメディア　e-Port カンパニー
e-mail : e-port@sunmedia.co.jp
〒164-0012　東京都中野区本町 3-10-3　PORT ビル　Tel : 03-3299-1575　Fax : 03-3374-1410

2次元カラー・コード＜カメレオンコード＞を活用した、図書館向けソリューション

図書館探索アプリ これ棚®

スマホで本との新たな出会いを創出。

利用者の資料探索を支援

スマホを書架にかざすだけで、
資料の情報が画面に表示されるので、
資料を探しやすくなります。

✓ブラウジングの際、気になった資料の情報をAR表示で気軽に確認できます。

✓検索した資料を探す際、見つけやすいようマークして表示します。

✓ 好きな言葉をキーワード登録しておくと、該当する資料をマークして表示します。

<カメレオンコード>は株式会社シフトの登録商標です。

Nakabayashi ナカバヤシ株式会社　図書館ソリューション営業部

福岡支店　〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭５丁目７番11号
TEL 092(641)3661　FAX 092(641)3699

HP:https://www.nakabayashi.co.jp/　MAIL:toshokan@nakabayashi.co.jp

動画公開中

22.11-

STACK RUNNER®

制震 ハンドル式スタックランナー

強固なラック仕様と快適な操作性に加え利用者に対する安全性をさらに強化しました。※通路照明はオプション

よりよい保管システムを提供する
日本ファイリング

日本ファイリング株式会社
本社／〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2
支店／大阪・名古屋　営業所／札幌・仙台・広島・福岡

ISO14001
ISO9001
認証取得企業

お申込み・お問い合わせ
https://www.nipponfiling.co.jp

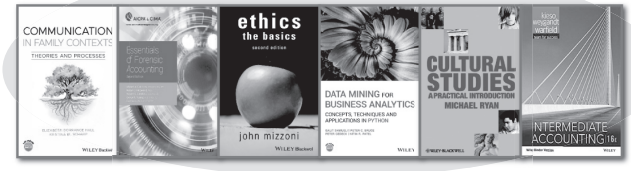
Maruzen eBook Library

WILEY

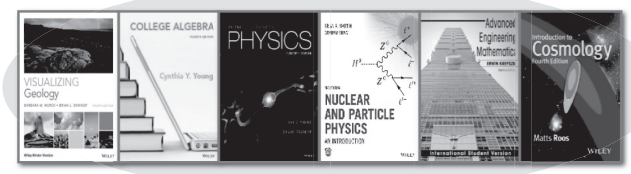
テキスト ベストセラー

Wiley の人気教科書タイトルが好評配信中！
採用校も多い教科書タイトルが多数 !!

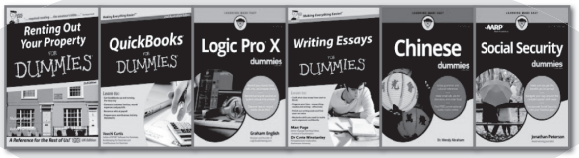
人文社会学関連



理工学関連

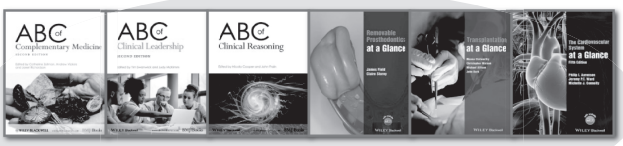


FOR DUMMIES®



政治、 経済、 歴史から数学、 化学、 物理学、 生物学等々、 幅広い分野から
1 冊 1 トピックスで分かりやすく、 楽しく入門レベルの知識を提供するシリーズです。

Health & Medical Science シリーズ



At a Glance シリーズや、 ABC シリーズといった医学生や若手臨床医などのための
Wiley の医療・健康関連のタイトルを配信中！医学・歯学・看護学など幅広い
分野を英語で学べます。

詳細はお問合せください。

MARUZEN-YUSHODO

丸善雄松堂株式会社学術情報ソリューション事業部　Maruzen eBook Library 担当
Tel：03-6367-6008　Fax:03-6367-6184　e-mail:ebook-i@maruzen.co.jp
営業時間：9：00 ～ 17：30（土・日・祝日、 年末年始を除く）

図書館向け電子洋書をもっと手軽に、もっと身近に

紀伊國屋書店Webストアで
洋書電子書籍220万点が買える

※初回のみお申込みが必要です

紀伊國屋書店 BookWeb Pro で
かんたん購入・すぐ接続。
海外eBookの経常購入に最適

・紙の本と同じように
かんたんに購入
・注文して即接続
・5分間試し読み
・公費対応

お申込み・お問い合わせは、株式会社紀伊國屋書店　九州営業部

福岡営業所	TEL 092-437-5353	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南1-3-11 KDX博多南ビル6F
熊本営業所	TEL 096-322-5666	〒860-0806	熊本市中央区花畑町4-1 太陽生命熊本第2ビル2F
鹿児島営業所	TEL 099-223-4519	〒892-0847	鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第2ビル8F
沖縄営業所	TEL 098-887-3678	〒903-0804	那覇市首里石嶺町4-99-1　まるしんビル
【本社】デジタル情報営業部	TEL 03-6910-0518	〒153-8504	東京都目黒区下目黒3丁目7番10号

ProQuest Ebook Central

丸善ジュンク堂書店　外商部　福岡営業所

本、売ってます。

メールでお気軽にお問い合わせ下さい。
請求書払いにもご対応しております。

お問合わせ先　　E-mail fk-gai@junkudo.co.jp
福岡市中央区大名１−15−1　天神西通りスクエア 4F
電話・092-738-3405　　ＦＡＸ・092-717-7321

広げます　あなたの未来

政府刊行物

探したい本はここで見つかる。
政府刊行物のホームページ
http://www.gov-book.or.jp/

政府刊行物サービス・ステーション

天神：福岡市中央区天神 4-5-10（チサン天神 1F）
TEL（092）721-4846

市役所：福岡市中央区天神 1-8-1（福岡市役所 B1F）
TEL（092）722-4861

県庁：福岡市博多区東公園 7-7（福岡県庁 B1F）
TEL(092)641-7838

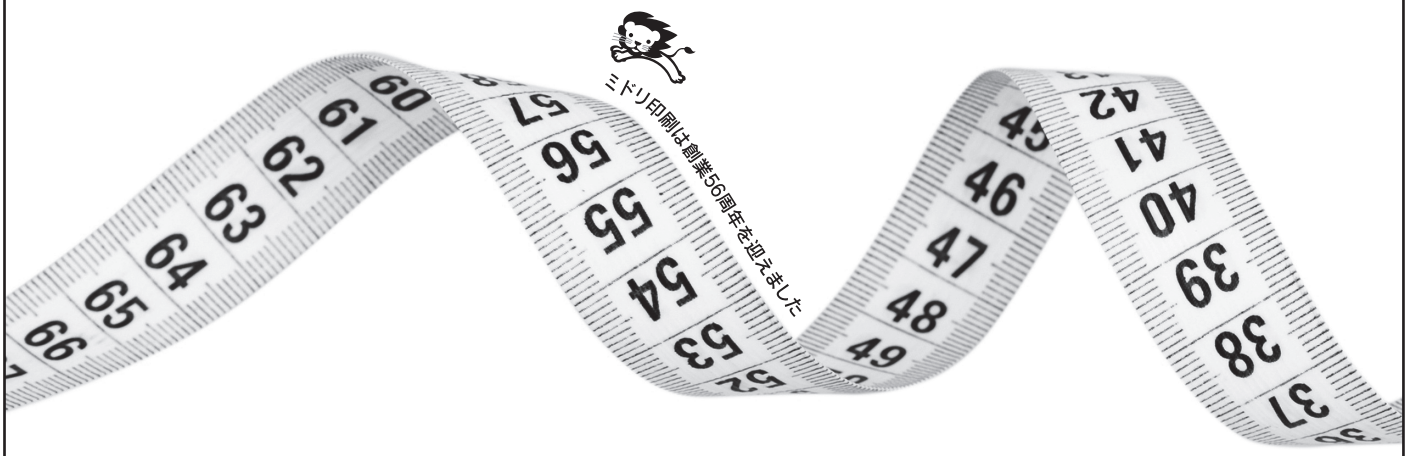
政府刊行物普及株式会社・福岡県官報販売所
〒810-0001福 岡 市 中 央 区 天 神 4-5-17
TEL(092)761-1151　FAX(092)751-0385

IMPORTER OF ACADEMIC PUBLICSTIONS & SOFTWARE

福　岡　海　外　株　式　会　社

海外学術書籍、雑誌、国際会議録、規格、データベースの輸入販売、
及びそれらのデジタルコンテンツでの販売とサポート

〒812-0023　福岡市博多区奈良屋町 10 番 3 号
☎092(402)2145　Fax 092(402)2146
E-mail: e-shibuya@giga.ocn.ne.jp
fkaigai@lime.ocn.ne.jp
http://www.fkaigai.com



クリエイティブ企業へ

株式会社ミドリ印刷

本　　社（グループ本部）｜〒812-0016 福岡市博多区博多駅南6丁目17番12号 TEL 092-292-0300 FAX 092-483-9089

営 業 部（工 場 部）｜〒812-0857 福岡市博多区西月隈1丁目2番11号 TEL 092-441-6747 FAX 092-473-1275

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ミドリ印刷は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

www.midori-p.com

IS09001　IS014001　24000063　P-00066

九州地区大学図書館協議会誌　第66号

令和６年２月発行

発　行　　福岡市西区元岡744　九州大学附属図書館内
九州地区大学図書館協議会
ＴＥＬ（092）802－2470
ＦＡＸ（092）802－2474
https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/

九州地区大学図書館協議会誌　第66号
2023年